

会長のページ 女性医師の活躍に期待する	河野 雅行	3
日州医談 一億総活躍社会と子ども・子育て対策	濱田 政雄	4
随筆 4度目の夏のしまなみ	川野啓一郎	6
生涯現役で頑張ろう	谷口 二郎	10
エコー・リレー(494)	鬼塚 恭子, 松元 征徳	12
メディアの目 体内時計	杉尾 守	24
宮崎大学医学部だより(宮崎大学医学部附属病院薬剤部)	岩切 智美	25
専門分科医会だより(皮膚科医会)	成田 博実	26
診療メモ 「B型肝炎ワクチンの定期接種化」 ～平成28年10月1日より～	山崎 俊輔	76

叙勲・祝賀	13
表彰・祝賀	14
宮崎県感染症発生動向	16
あなたできますか?(平成27年度医師国家試験問題より)	18
各都市医師会だより(児湯医師会, 西都市西児湯医師会)	20
第17回宮崎県医師会医家芸術展	27
第60回九州ブロック学校保健・学校医大会平成28年度九州学校検診協議会(年次大会)	28
平成28年度九州学校検診協議会幹事会	29
九州各県医師会学校保健担当理事者会(日本医師会学校保健担当理事との懇談会)	30
平成28年度九州医師会連合会学校医会評議員会	32
平成28年度九州学校検診協議会第1回専門委員会	33
九州医師会連合会第357回常任委員会	36
九州医師会連合会第111回定例委員総会	37
日医インターネットニュースから	38
医師国保組合だより	40
薬事情報センターだより(353) 新薬紹介(その87)	42
ベストセラー	43
理事会日誌	44
県医の動き	49
会員の異動・変更報告	50
ドクターバンク情報	51
行事予定	57
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	59
宮大医学部学生のページ	78
あとがき	82

お知らせ 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ	9
医療事故調査制度 相談窓口	11
「新春随想」原稿募集	19
宮崎県医師会メーリングリストのご案内	35
クールビズについて	37
宮崎県医師会医療情報コーナー	43
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	55
宮崎県医療勤務環境改善支援センター	75
郡市医師会への送付文書	80

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの
健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに
最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年 3月12日制定)

〔表紙作品：油絵〕

やすらぎ

ニュージーランドの中心地クライストチャーチはエーボン川が流れ、町中庭づくりが奨励され自然な風景とよくマッチし、白ゆりやダリアが自生し、しばし癒される一時でした。

都城市 よし やま あや こ
吉 山 絢 子

会長のページ

女性医師の活躍に期待する

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

古くは医学部入学者の女性割合は10%に満たなかった時代がありました。今や、医学部入学者に占める女性の割合は約3分の1となっています。医師会員の構成も若年者ほど女性の割合が高くなり、全医師の女性割合は20%を超す勢いとなっています。

これだけ女性医師が増えているのに、その女性医師達が医療現場において、十分に力を発揮できない現状は残念なことです。何時まで経っても医師不足の解消にはなりません。我が国に男女雇用機会均等法等が制定されて久しくなりますが、一般社会では未だ、女性の管理職登用が遅れていると聞きます。スポーツ競技では厳格に性差で分けてある如く当然、女性である

ために活動を男性と全く同列で述べるのは意味合いも少なく、現業においては女性であることを意識的に取り上げる時代ではありません。諸外国では女性の大統領や首相が就任して活躍しているのは枚挙に暇がありません。我が国では、未だ女性首相は誕生していませんが、いくつかの地方自治体や会社では女性がトップとして活躍され、その実績は男性と比較しても遜色はないようです。日本の歴史上には女性天皇が何人も即位され、最も古い指導者と言われる卑弥呼や天照大神も女性として伝えられています。近代においては平塚雷鳥が青鞥の中で「元始、女性は太陽であった」と述べています。これは少し過剰表現かもしれませんが。

現代社会において医学並びに地域医療には女性医師の力は十分発揮できるし、彼女等の活躍を抜きにしては考えられません。医療界では、実力を持った女性が管理職についてもそれ程の抵抗はないものと思われれます。そこで、医療現場の各部署で、女性医師の働きやすい環境づくり整備の取組みが行われています。女性医師の働きやすい環境は男性医師にとりましても働きやすい職場につながるものと考えます。

宮崎県医師会では荒木常任理事、糸数理事を中心に様々な取組みを行っています。もっとも、かく言う県医師会の構成をみると理事監事25名中女性は2名のみで、更なる増員を試みましたが、なかなか受諾していただけないのが現実です。仕事、家庭、更に医師会活動の三立はまだまだ難しいようです。

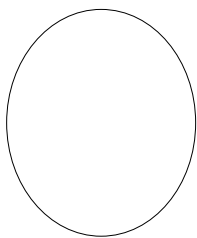
女性であるがための負担としては何といたっても出産・育児であろうと思われれます。そこで県医師会では女性医師が安心して就業できるように、女性医師相談窓口の設置、研修会時の無料託児サービス、ワークライフバランスセミナーの開催などを行ってきました。また大学との共催で医学生向けセミナーも毎年開催しています。さらに、昨年度からは「宮崎県医師会女性医師保育支援サポートモデル事業」を開始し、女性医師の子育てを地域で支える保育サポーターを養成しています。

全国各県でも様々な取組みを工夫されているようですが、まだまだ課題も多いようです。我が県においても県行政と協力して継続的で実効のある更なる取組みが求められており、それを達成するべく企画しているところです。

働きやすい職場環境を整えて女性医師の皆様に更なる活躍を期待いたします。

(平成28年9月23日)

日州医談



一億総活躍社会と子ども・子育て対策

副会長 ^{はま}濱 ^だ田 ^{まさ}政 ^お雄

小泉元首相に倣ってか、安倍首相もワンフ
レーズ政策提言が多い。安倍政権復活の第一弾
として「三本の矢」政策による財政金融・経済成
長政策が打ち出されたが、原油価格の低迷・英
国のEU離脱などによる経済の鈍化・為替レー
トの再上昇から平成27年9月にアベノミクスは
第二ステージに入るとし、「三本の矢」にかわる
「新・三本の矢」を打ち出しました。第一の矢は
「希望を生み出す強い経済」、第二の矢は「夢を
つむぐ子育て支援」、第三の矢は「安心につな
がる社会保障」です。これらを推進することによ
り、それぞれ「GNP600兆円」、「希望出生率
1.8」、「介護離職ゼロ・地域共生社会」の実現を
目指すとしています。骨太の方針2016では「新・
三本の矢」を一体的に進めること、すなわち非
正規雇用の待遇改善・最低賃金の引き上げ、長
時間労働の是正、高齢者・障害者等の活躍促進
によって横断的課題である働き方改革と生産性
向上を図るとし、厚労省は包摂と多様性による
持続的成長と分配の好循環実現の基盤整備に向
けて、来年度予算概算要求31兆1,217億円は新
三本の矢に重点配分するとしています。この方
針は人口減少による日本経済の失速回避のため
に労働者数を確保するためであり、結婚・子育
て希望の実現による人口増加、介護と仕事の両
立社会の形成が状況打開のために必須と判断し
たためです。特に第二の矢では①待機児童の解
消、②女性・若者の活躍促進、③総合的子育て
支援の推進を実現のための柱としています。
1.57ショックでの少子化対策とは趣が異なり、

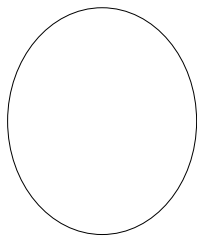
積極性姿勢が期待できます。合計特殊出生率が
1.8となれば、取り敢えず人口減少のペースは
緩やかにはなりますが、2.1を達成しなければ
人口減少に歯止めはかかりません。子育て支援によ
り、希望通りに結婚し子どもが持てる社会が創
成されれば、確かに出生率が上昇して人口減少
に歯止めがかかります(実際には高校卒業時の
性交体験率は10年前の約50%をピークとして減
少し20年前のレベル約20%に低下しており、こ
れは性教育の普及によるのではなく、寧ろセッ
クスレス夫婦と同様の性衝動行動自体の低下で
あり、草食動物から絶食動物化したとも揶揄さ
れる別の観点から大きな問題です)。さて、子
育て支援には二つの施策が考えられます。ひと
つは育児支援で、育児休業の保障と保育体制の
充実です。これは医療においても医療従事者確
保の面から喫緊の課題で、未だに女性医師の仕
事の継続は満足いくものではありません。育児
休業は教員や一般公務員ではかなり保障され連
続育児休暇取得による第二子、第三子出産もみ
られますが、民間企業勤務者では難しく、特に
宮崎に多い中小企業勤務者においては出産後の
復帰さえもが危ぶまれるのが現状です。一年間
の育児休業後の復帰には、保育所入所待機児童
問題があります。厚労省は待機児童数が実数と
乖離しているとの指摘から実数に近づけるべ
く、その算定法を元に戻すように通知しまし
た。2001年に待機児童の定義を自治体が独自の
基準を定めて適切な保育をしている認可外保育

施設を利用しながら待機している児童らは、待機児童数から除いてよいとし、2001年旧定義でみれば3万5,144人だった待機児童数は、新定義で2万1,201人に減少して報告されました。保育所がないために就職活動をしていない方・在宅で職を探している方や育休明けの入所希望として入所予約の場合などは、待機児童数から除外されていたため、待機児童を解消する保育数が補填されると新たな待機児童が出るのはそのためです。そこで2017年がピークとされる待機児童問題の解消を目指し、40万人の保育の受け皿を確保する「待機児童解消加速化プラン」が打ち出されました。計画は2段階に分かれ、2013年から2015年までを緊急集中取組み期間として緊急プロジェクトを組み、意欲のある地方自治体に対し強力な支援を行い、保育の量拡大と待機児童解消を図るようになっています。2015年には子ども・子育て支援新制度をスタートさせ、2017年までの2年間で更に整備を進める取組み加速期間としました。緊急プロジェクトの支援内容は①賃貸方式や国有地も活用した保育所整備(ハコ)、②保育を支える保育士の確保(ヒト)、③小規模保育事業など新制度の先取り、④認可を目指す認可外保育施設への支援、⑤事業所内保育施設への支援の5つが考えられています。実際に各自治体で出産後も引き続き就業を希望する女性数を的確に把握して、認可保育所が整備されれば、就業中の女性の出産数は増加することが期待できます。大企業では企業内保育所がかなり整備されていますが、宮崎県では中小企業が多く保育設備は足りていません。同様の問題は102万人とも言われる学童保育においても見られ、育児中の保護者における社会復帰の大きな問題点のひとつです。

いまひとつは、育児にかかる費用です。子育て世代の生活基盤の脆弱さが結婚・出産を控える一因になっています。2011年に国立社会保障・人口問題研究所が実施した第14回出生動向

基本調査結婚と出産に関する全国調査によると、夫婦にたずねた理想的な子どもの数はそれまでで最低の2.42人となっています。また、夫婦の希望子ども数も2.07人と減少しています。理想の子ども数を持たない理由で最も多いのが、子育てや教育にお金がかかりすぎるから(60.4%)であり、年代別にみると、若い世代ほど割合が高くなる傾向がみられます。次が、高年齢で生むのはいやだから(35.1%)であり、年代別にみると、年代が高くなるほど、割合が高くなる傾向がみられます。20代、30代といった子育て世代の所得分布をみると、20代では、1997年には年収300万円台が最多でしたが、2007年には200万円台前半が最多となっています。また、30代では1997年には年収500～699万円が最多でしたが、2007年には300万円台が最多となりました。このように子育て世代の所得分布は、この10年間で低所得層にシフトしています。また女性の就労意向は何らかの形で働きたい方の割合は86.0%となっており、出産を機に退職した女性の約4分の1の方は仕事を続けたかったが仕事と育児の両立が難しいことで退職したとしています。このことから出産に伴う女性の就労継続はいまだに厳しいことが窺えます。今回の育児と仕事の両立に向けた政府主導の緊急プロジェクトが子育て世代の就労環境改善に働けば、86%の就業希望に沿えると期待されます。さらに、低所得に偏移している子育て世代の生活改善には育児に係る費用の支援が求められ、特に保育所・幼稚園・小学中学高校大学の学資無償化は最大の出産・就労支援となります。GNPを維持し、今の生活環境を守るための少子化対策は、問題視されてからも殆ど機能しておらず、出産適齢人口は減少し続け、人口維持不能となる時はそこに迫っています。高齢者向けの対策費と同等の育児世代の支援対策費が求められます。

随 筆



4 度目の夏のしまなみ

宮崎市 まつばし川野整形外科 かわ の川 野 けいいちろう啓一郎

「ねえ、もういいかげんで止めにしたら」「もう若くないんだから」と奥さん。

「無言」の私。

出発前に奥さんからの苦言を聞き流しながら、新型の自転車を組み立てる。

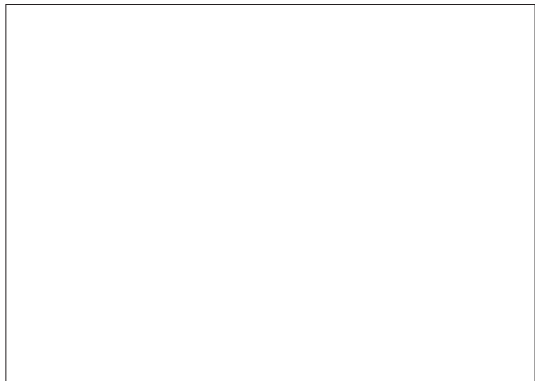
奥さんが言うのももっともな事なのである。

今年の梅雨は長雨であった。そして梅雨が明けた途端の酷暑である。しまなみに向けての暑さ対策の練習が出来ず、焦っていた。10日前の日曜日によく野島まで走る事ができ、その帰りに、熱中症に罹りそうになったのである。呼吸切迫、動悸を生じ、いくら深呼吸をしても、スピードを緩めても、心臓は早い脈を打ち、息苦しさも強くなってきた。頭の中でアラームが鳴り始めた。「休む場所を見つけないと」。バイパスと220号線が交差する日陰に急いで停車した。その直後ふらつきを生じ、立っていられなくなり、しゃがみ込んでしまった。そして、シビレ。何故か両側の橈側から始まり、上肢全体に広がっていった。この日は午後4時から県医師会の「医療事故調査制度」の研修会があり、焦りもあったのかもしれない。水分補給を行い、30分も休んでいると、息苦しさが取れ、シビレが消えて、心拍も落ち着いてきた。奥さんと呼ばずに何とか自力で自宅に帰ることができた。

今年は新型の自転車を購入し、気持ちの上でも気合いが入っていた。ブレーキの効きも良くなり、走行安定性が増し、更に、旧型より1kg

も軽く、6.5kgと持ち運びにも便利になった。例年以上に綿密に、塩分補給の食料と胃薬、外用薬等の準備を整えた。忙しさのため、遠距離の練習は3回だけであったが、日頃のママチャリ練習や自宅での筋トレ等、できるだけ事はやってきたつもりである。

しかし、肝心の組み立てがうまくいかない。旧型のものであれば30秒で完了するのに、ハンドル部分前方の接合がうまくいかない。そうこうしているうちに「にちりん6号」の発車時刻が迫ってきてしまった。断腸の思いで新型をあきらめた上に、奥さんに車で駅まで送ってもらうという失態であった。駅に着いて車を降りて歩き出すと、背後から「勇気ある撤退も必要



来島海峡大橋の先に希望の光が見える

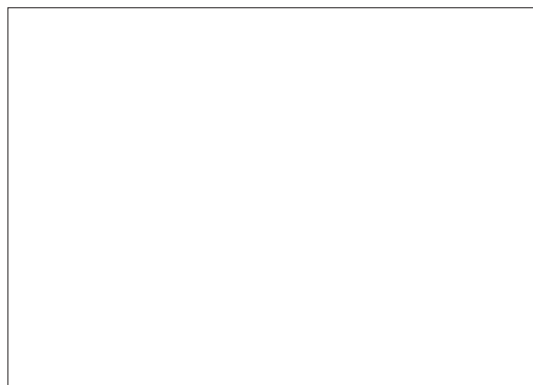
よ！」と最後の一撃が追いかけてきた。「分かっている！」と振り返らずに答えて、急ぎ足で駅の構内へ入った。何とも幸先の悪いスタートとなってしまった。

毎年、体力テストを兼ねて、お盆の期間中、島を巡る輪行をやっている。対馬を皮切りに、小豆島、淡路島と走ってみて、やはり「しまなみ」が最高だと思う。自転車道として良く整備され、景色も最高、安全面から考えても一番だ。「しまなみ海道」は今治から尾道の対岸まで、80km足らず、それぞれの橋では車道と自転車道がしっかり区別されており、安全である。島に着くと高速道路と分かれ、一旦下りて、島の中を走り、又次の橋を渡るというサイクリングコースである。本格的なサイクリングスーツに身を固めた自転車愛好家はもちろん、家族連れやカップルの観光客も多く、自転車を借りて、走った後にどこにでも乗り捨てられる気楽さからか年々人が増えているのを感じる。私としてもこれから先、走れる間は走りたいと思っている。

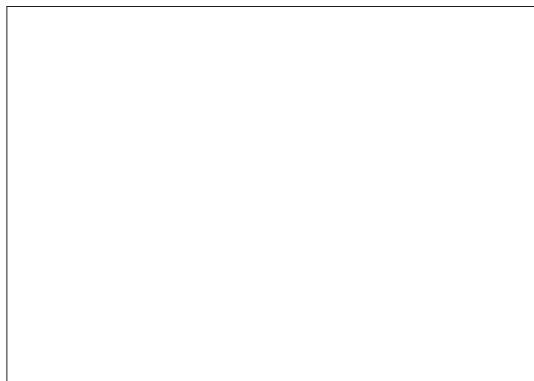
この日、8時7分発の「にちりん6号」に乗り、臼杵で下車、港まで自転車で行き、フェリーで四国に渡る。八幡浜のJRの駅までは自転車、そこから特急に乗り松山で乗り換え、今治に着いたのが16時6分、丁度8時間の行程であ

る。明日に備え、この日は今治泊まりである。このように4度目のしまなみは、神経質に不安いっぱいの中でのスタートであったが、熱中症対策が十分効果を発揮し、比較的スムーズに走ることができた。約7時間の走行であったが、予想外の問題以外は、今迄で一番いい走りであったように思う。広島に宿を取り、街に食事に出掛けた。食事が届くまでの間、これまでの4度の「しまなみ」の総括を行った。先ず幸いなことに途中でリタイアしたことは一度も無く、完走できたことは評価してもいいかなと思った。しかし、それぞれのサイクリング毎に問題はあり、対策は必要と考えた。

初回は当然のことながら緊張で全身が凝り固まっていた。しかも前日の夜は雨が降り、「このまま電車で帰ることか」と意気消沈したのを覚えている。翌朝、空は分厚い黒い雲に覆われていた。今にも雨が降りそうな空模様。しかしとりあえずスタートの決心をした。20分後、来島海峡大橋の手前で橋を見ると、大島方面は明るくなっており、後光が射しているように見えた。映画のワンシーンのような希望の光に、感動と勇気を与えられた気がした。「これで行ける！」と走っているうちに青空が広がり、完全な夏の日差しが射してきた。島と島を渡る橋



道を間違えたために、見る事ができた景色 名所「船折の瀬戸」付近の景色



大三島橋にて

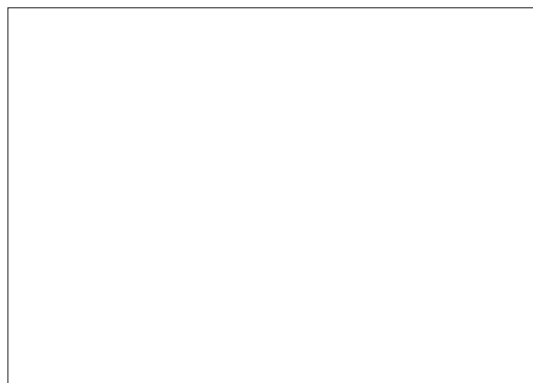
の上から下を眺めると、キャッチフレーズの「空中散歩」が楽しめたし、夏の黄金色の光の中に、雨上がりの島々の瑞々しい緑がくっきりと輝き、海の碧さと相まって瀬戸内海の素晴らしい景色を十分楽しめたサイクリングだった。以後、この景色を求めて走っているような気がする。初回故か、2度のコースの誤りと、8時間半の長時間を要した点が問題点であった。

2度目の逆ルートの際は、最悪であった。尾道に宿を取り、7時に渡し舟に乗ってスタート。向島に渡ってしばらくして、事もあろうに道を間違えてしまったのだ。山道を1周し、体力の消耗と時間のロスを生じ、心に焦りがあったように思う。2013年は猛暑の年であった。来島海峡大橋手前の展望台によろやくたどり着いた時、「ここまでくれば完走できる」そう思って橋を眺めた途端、胸に込み上げるものがあった。この夜は、松山に宿泊。しかし、急性胃炎の状態で現地の名物はもちろん固形物一切を胃が受け付けず、スポーツドリンクのみで一夜を過ごすはめになった。熱中症対策を十分行わないといけないという反省であった。

3回目は、前回の反省の上、朝4時起床、早い時間でのスタートを目指し、軽食を取った後、5時20分、部屋から自転車を引いてフロントへ。ホテルの玄関のロックを解除してもら

い、外に出ると、何と土砂降りの雨。唖然として5分程外に佇んでいたが、一向に止む気配が無い。仕方なく、又、部屋の鍵を戻してもらい、部屋で善後策を練る。6時半、何気なく外を見ると、雨は上がっており、薄日が射している。直ちに出発。しかし、多々羅大橋手前で雨に祟られ、一次はリタイヤの危機もあった。もちろん雨が降ればリタイヤと決めていたし、高速バスの停留所がある生口島の瀬戸田をポイントと決めていた。幸い転倒もせず、瀬戸田の手前で夏空が戻りそのまま完走することができた。結果的に問題はなかったのだが、雨に対しての判断は慎重を要すと考えた。

さて、4回目の今回はどうだっただろうか？因島の町中はこのコースで唯一とっていい程道路の狭い場所がある。きちんとした自転車道が無く、白線の内側を走っていても後方から迫ってくる車と接触する危険性が高い要注意ポイントである。その場所を通過してホッと一息ついて、さあ自転車道に戻ろうとした瞬間、体が宙を舞い、前方に投げ出されてしまった。直角に進入したまでは良かったが、車輪に比較して縁石が高かったのである。幸い手と膝周囲に数か所の擦過創ですんだので助かった。カットバンやティッシュとゲンタシン軟膏、テーピングで応急処置をして走り続けることができた。県外での転倒事故としては小樽の天狗山から下り

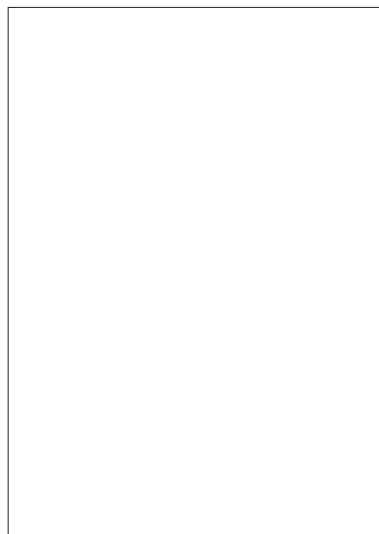


因島大橋の前で完走を確信してガッツポーズ

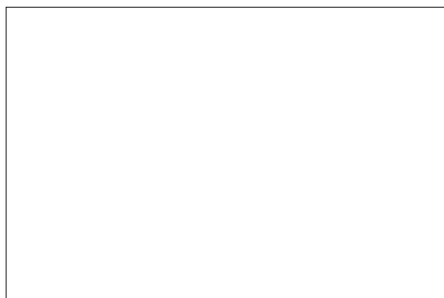
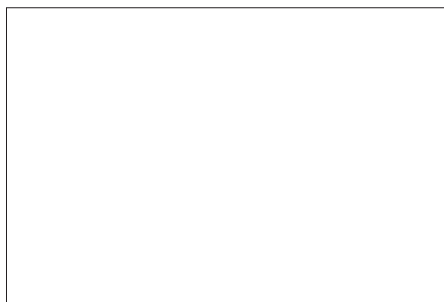
る際、ブレーキの効きが悪く道の脇の広場の草むらにわざと突っ込んで強制停止させた際、横に転倒して以来の事であった。しかし、今回は全くの判断ミス、全くの油断であった。それともやはり奥さんが言うように、年齢的に無理になっているのかもしれない。春や秋の季節に変えるとか短いコースにするとか考えた方がいいのかもしれない。と、ここまで考えていると向こうから生ビールのジョッキが運ばれてきた。しめしめグラスもしっかり冷やしてある。早速一杯。

「カーッ。最高にうまい！」

うん、やっぱり次もここだな！



宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ



宮崎県医師会では、県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館1階に臨時の無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は、事前の予約が必要となりますので、ご希望の方は開催日の2週間前までに県医師会までご連絡ください。

お問合せ先

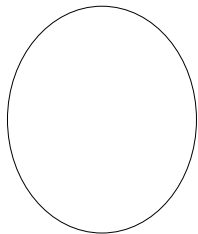
宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 畠中・久永

随 筆



生涯現役で頑張ろう

宮崎市 たにぐちレディースクリニック たにぐちじろう

昭和60年8月20日に開業して31年が経った。最近、私に取り上げた赤ちゃん達が次々とお産をしてくれる。それは鮭が生まれた場所を目指し、そこでお産をするのと似ているのかもしれない。しかし、とにかく何十年も前に生まれた赤ちゃんがこんなに大きくなり、又次の命をバトンタッチしていく姿には目が潤む。

取り上げた子達は生まれた時に会って以来である。その間に色々な人と出会い、素敵な伴侶を得て、お産のために来院するのだ。そして再会した時にはもう立派なお腹の大きな妊婦さんである。すっかりその姿は変わっているので、会った時は全く誰だか分からない。母親同伴で来られると、初めて「ああ、あなたの娘さんですか。大きくなりましたネ」と話が弾む。

お母さんは勿論その間に年を重ね、素敵なナイスミドルになっている。それでも昔の面影があるので分かるのである。

ほとんどの母親は自分の娘の出産に立ち会う。固唾を飲み、目の前で生まれる赤ちゃんを今か今かと待つ。無事にオギャーと産声を上げるとホッとした表情で赤ちゃんを見つめている。そこには自分が何十年も前に出産した時のことが思い出されるのであろう。立会われたお母さんはみんな涙を流され、孫の誕生を喜ばれる。まさに命のバトンタッチが出来たという安堵感もあるに違いない。

その時私はお母さんに「おばあちゃん、お孫さんが生まれて良かったですネ」と声を掛け

る。すると母親はキョロキョロ回りを見回し「おばあちゃん？それ誰？」という顔をされる。そこですかさず「今産んだのはお母さん。あなたはおばあちゃん」というと照れくさそうに「そうですネ、ついにおばあちゃんと呼ばれるようになったのですネ」と時の流れを初めて理解される。

そう、あれから何十年もの歳月が流れたのだ。2代に渡り赤ちゃんを取り上げる自分も同じ気持ちである。妊娠初期、超音波で米粒位の大きさしかなかったものが、10カ月間に大きくなりオギャーと生まれる。

そして、それから又その子が新しい生命を宿し又新しい命が生まれる。

やはり命というものは本当に素晴らしいものだと思ふ。

最近もっとびっくりすることが起こっている。それは3代当院で生まれているケースがあるということだ。それは一体どういうことなのか？

実は私の父は産婦人科医で昭和17年に当クリニックがある上野町で開業し、昭和45年まで「谷口産婦人科病院」を開業していた。その28年間に父が取り上げた人達が「たにぐちレディースクリニック」でお産をし、その子の子が又生まれてくるのである。つまり父と3代に渡って赤ちゃんを取り上げていることになる。そう思うと産婦人科医というのは因果な商売だと思ふ。

もし私があと10年仕事を続けることが出来れば、もしかして4代に渡って子どもを取り上げることも可能なのかもしれない。その時の光景を想像するだけで胸がワクワクしてくる。

因みに、親子2代続けて取り上げたおばあちゃんからは「この子が大きくなったら、又お

世話になりますから、それまで元気で仕事続けていて下さいネ」と言われる。生涯現役を宣言している私は、そういう声を聞くとついその気になってしまう。苦労も多い産科の仕事だが、体が続く限り頑張って行こう。そういう気持ちで毎日仕事をしている。

医 療 事 故 調 査 制 度

宮崎県医師会 相談窓口

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。

医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

宮崎県医師会 電話 0985-22-5118

【受付時間】

平日の8時30分から18時、土曜日8時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話(0985-22-5118)で対応いたします。

時間外または日曜祝祭日等県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の医療事故調査・支援センター相談専門電話(03-3434-1110)にご連絡ください。

【その他】

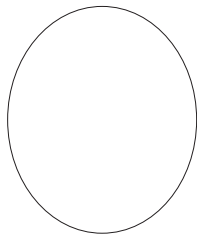
この制度は、医療事故の再発防止により医療の安全を確保することを目的にした制度です。対象事案を報告するか否かについては、医療機関の管理者が組織として判断することになっており、ご遺族から医療事故調査・支援センターに直接報告や調査依頼をする仕組みではありません。

エコー・リレー

(494回)

(南から北へ北から南へ)

「エコー・リレー」に寄せて

宮崎市 アイレHDクリニック おに づか きょう こ
鬼 塚 恭 子

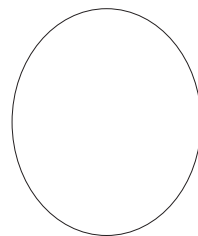
宮崎市アイレHDクリニックに勤務しております。病院名にありますように、当院では「HD：血液透析」を行っております。(ちなみに「アイレ」はスペイン語で「空気・風・雰囲気」を意味し、患者様を包む雰囲気をよいものにしていきたいという日高恵子院長の思いがこめられています)。「エコー・リレー」にちなんで「エコー：超音波検査」について書かせていただきます。

当院のエコーの特性として、前腕の動静脈を吻合して作成した「内シャント」に対するシャントエコーがあります。透析を受けておられる方に、シャントの狭窄症状が出現することがあり、シャント血管壁の性状や血流の状態をエコーで評価しています。(残念ながら狭窄が高度であったり、閉塞してしまっている際は、血管拡張術を受けていただくことで改善できます)。腹部超音波検査も行なっていますが、心臓超音波検査を行なう機会も多く、当院でのエコー画像は「動いたり、流れたり」というものが多い気がします。

ところで、このところ整形外科様にお世話になる機会が多いのですが(前回筆者の山本恵太郎先生にもお手数をおかけしています…)、こちらでは筋肉の挫滅や関節内液の様子などをエコーで観察されています。普段見ないエコー像にあれこれお聞きしたい気持ちを抑えるのに一苦労。更には超音波治療というものもあり、骨折の治りが早いのだとか。超音波は奥が深いです。

[次回は、宮崎市の福留 理恵先生をお願いします]

種子島サーフィン一人旅

宮崎市 江南まつもと整形外科 まつ もと まさ のり
松 元 征 徳

毎日の雑多な仕事とスタッフ人事、受験前の子供達、同居を始めた母親の介護など、疲労感の蓄積した小生の体内にはドーパミンが枯渇してきた。手酌晩酌が楽しみであったが、健診でメタボと脂肪肝の指摘、トホホである。のっけから憂鬱な書き出しで失礼、しかし共感してくれる中年同志もいてくれると思う。そんな折、GW連休に向けて家族旅行でもと企画するも参加者なし。塾と部活に占拠され、小生の少ない連休は孤独となった。

サーフィン歴30年以上のレジェンドクラス、西海岸や豪州など海外経験もあり、今回の種子島は6度目となる。しかし、サーフィン一人旅は50歳過ぎの初老でも初体験で不安を感じた。種子島初日は前線の影響で雷雨、宿のある鉄浜(キムタク、静香が訪れた)に着いたが、波はクローズ状態。種子島を1周しながら波チェック、諦めかけた夕方、河口のリーフで頭オーバーのレギュラーがオフショアをうけて小生を迎え入れる。誰もいない海でアドレナリンいっぱいで大波と格闘した。ドーパミンだけではなく、テストステロン、サーチュイン遺伝子にもスイッチが入り、脱更年期だ〜。夜は満天の星空を見ながら久しぶりに自炊した飯を食べ爆睡した。翌朝5時からサーフィン三昧、種子島の海は数日間、最高の波で小生をおもてなししてくれた。

真っ黒になって帰宅すると、息子が「超サイヤ人や〜」と笑った。2020年東京オリンピック、その年のGWにサーフィン会場への旅を企画したい。同行される中高年サーファー求む。

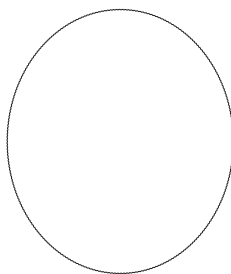
[次回は、宮崎市の中原 浩先生をお願いします]

叙勲・祝賀

瑞宝小綬章

ふじ もと と し ろ う
藤 元 登四郎 先生(都 城)

平成28年春の叙勲において瑞宝小綬章を受章されました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

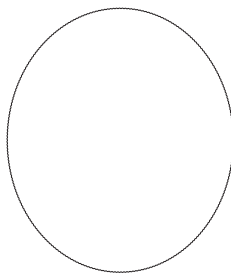


藤元 先生

旭日双光章

やなぎ た き み こ
柳 田 喜美子 先生(都 城)

平成28年春の叙勲において旭日双光章を受章されました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



柳田 先生

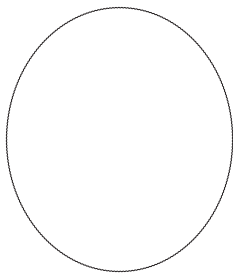
表彰・祝賀

医療功労により県知事表彰

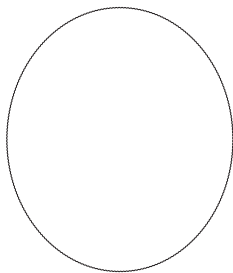
た 田	さき 崎	たか 高	のぶ 伸	先生(宮 崎)
まる 丸	た 田	しげ 茂	のり 徳	先生(都 城)
いの 井	うえ 上		ひろし 博	先生(延 岡)
よこ 横	た 田		あきら 晃	先生(日 向)
さき 崎	はま 濱	くに 國	はる 治	先生(児 湯)
つる 鶴	た 田	よう 曜	ぞう 三	先生(西 都)

平成28年6月18日、医療功労により県知事表彰をお受けになりました。

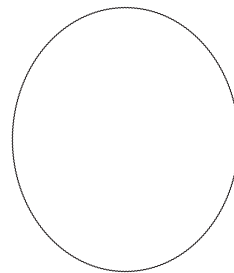
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



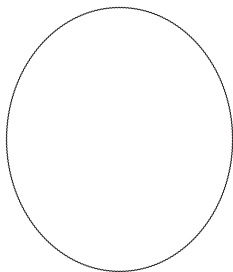
田崎 先生



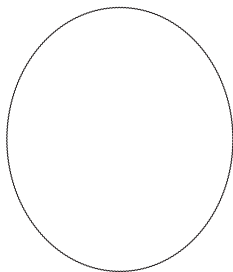
丸田 先生



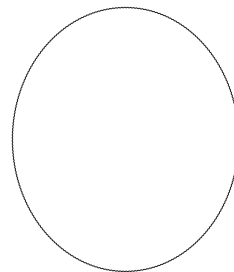
井上 先生



横田 先生



崎濱 先生



鶴田 先生

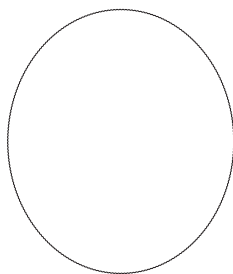
表彰・祝賀

警察部外功労者表彰(警察協力章)

いし い よし みつ
石 井 芳 満 先生(都 城)

平成28年7月1日、警察協力章が授与されました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



石井 先生



宮崎県感染症発生動向～8月～

平成28年8月1日～平成28年8月28日(第31週～第34週)

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核21例：保健所別報告数を【図1】に示した。患者が11例，無症状病原体保有者が8例，疑似症が2例であった【表1】。患者はすべて肺結核であった。性別は男性14例・女性7例で，年齢別報告数を【表2】に示した。

3類：報告なし。

4類：報告なし。

5類：○急性脳炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。0～4歳で病原体は不明であった。主な症状として発熱，痙攣，意識障害がみられた。
○後天性免疫不全症候群1例：宮崎市保健所管内から報告があった。20歳代男性で無症候性キャリアであった。
○梅毒1例：宮崎市保健所管内から報告があった。30歳代女性で無症状病原体保有者であった。

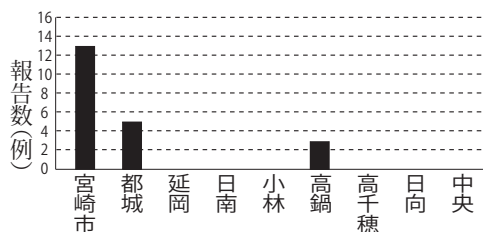


図1 結核 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告

肺結核	11
無症状病原体保有者	8
疑似症患者	2

表2 結核 年齢別報告

年 齢	報告数(人)
0～4歳	2
30歳代	1
40歳代	2
50歳代	1
60歳代	2
70歳代	7
80歳代	4
90歳代	2

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は2,410人(定点あたり76.2)で，前月比79%と減少した。また，例年の78%と少ない。

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病で，減少した主な疾患はヘルパンギーナとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は，伝染性紅斑，流行性耳下腺炎，マイコプラズマ肺炎であった。

伝染性紅斑の報告数は141人(3.9)で前月の0.8倍，例年の約6.6倍であった。高鍋(11.0)，小林(7.0)，日南(5.0)保健所からの報告が多く，年齢別では4～5歳が全体の約4割を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は319人(8.9)で前月の約0.8倍，例年の約7.6倍であった。高千穂(25.0)，小林(23.3)，日向(21.0)保健所からの報告が多く，年齢別では4～5歳が全体の約4割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は25人(3.6)で前月の約0.6倍，例年の約26倍であった。宮崎市(13.0)，高鍋

前月との比較

	2016年8月		2016年7月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	0	0.0	0	0.0	
RSウイルス感染症	167	4.6	118	3.3	
咽頭結膜熱	67	1.9	57	1.6	
※溶レン菌咽頭炎	185	5.1	305	8.5	
感染性胃腸炎	803	22.3	794	22.1	
水痘	69	1.9	56	1.6	
手足口病	168	4.7	137	3.8	
伝染性紅斑	141	3.9	176	4.9	★
突発性発しん	120	3.3	125	3.5	
百日咳	2	0.1	1	0.0	
ヘルパンギーナ	298	8.3	730	20.3	
流行性耳下腺炎	319	8.9	425	11.8	★
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	46	7.7	53	8.8	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	3	0.4	
マイコプラズマ肺炎	25	3.6	42	6.0	★
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★ 例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

(4.0)、日向(4.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約半数を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向

＜2016年8月＞

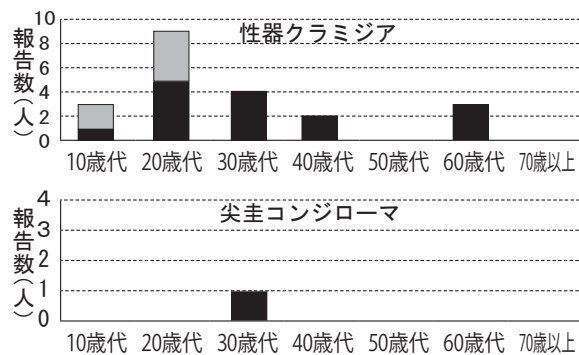
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は33人(2.5)で、前月比114%と増加した。また、昨年8月(2.8)の約0.9倍であった。

《疾患別》

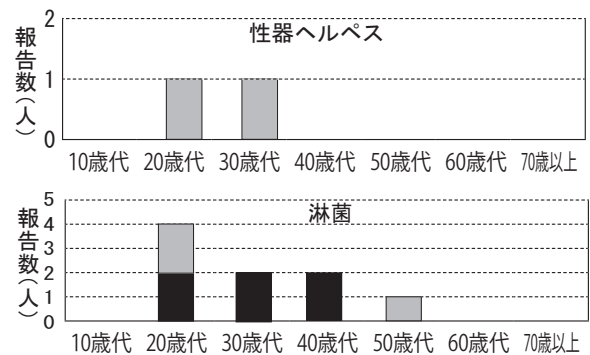
- 性器クラミジア感染症：報告数21人(1.6)で、前月(1.5)の約1.1倍、昨年8月(2.0)の約0.8倍であった。20歳代が全体の約4割を占めた(男性15人・女性6人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数2人(0.15)で、前月(0.23)の約0.7倍、昨年8月(0.15)の1.0倍であった(女性2人)。
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月及び昨年8月(0.23)の約0.3倍であった(男性1人)。
- 淋菌感染症：報告数9人(0.69)で、前月(0.31)の約2.3倍、昨年8月(0.46)の約1.5倍であった(男性6人、女性3人)。



■男 ■女

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウイルス	パレコウイルス 1 型	1
	パレコウイルス 3 型	8
	パルボウイルス B19	1
	ライノウイルス	1
	ムンプスウイルス	1
	単純ヘルペスウイルス 1 型	1
	コクサッキーウイルス B 5 型	3
細菌	エコーウイルス 25 型	1
	毒素原性大腸菌 (ETEC) (OUT:H4)	1
	<i>Staphylococcus aureus</i> (エンテロトキシン C型, TSST-1+)	1
	<i>Salmonella</i> Bareilly (07:y:1,5)	1
	<i>Salmonella</i> Infantis (07:r:1,5)	2
	<i>Salmonella</i> Braenderup (07:e,h:e,n,z15)	1
	腸管出血性大腸菌 (EHEC) (O1:H7 VT1)	1



□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は13人(1.9)で前月比68%と減少した。また、昨年8月(3.0)の約0.6倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数11人(1.6)で、前月の約0.6倍、昨年8月(3.0)の約0.5倍であった。70歳以上が全体の約4割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数2人(0.29)で、60歳以上であった(前月及び昨年8月報告なし)。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)



あなたできますか？

—平成27年度 医師国家試験問題より—

(解答は54ページ)

- 1 75歳の男性。左上肢の脱力発作を主訴に来院した。高血圧症で治療を受けている。昨日の夕食時に、突然、左上肢に力が入らなくなったことを自覚した。様子を見ていたところ徐々に改善し、就寝時には自覚症状は消失した。本日朝、昨日の症状が心配になり受診した。意識は清明。体温36.7℃。脈拍84/分、整。血圧160/90mmHg、血圧の左右差を認めない。右頸部に血管雑音を聴取する。上肢Barré徴候は陰性である。胸部エックス線写真と頭部MRIで異常を認めない。
- 行うべき検査はどれか。3つ選べ。
- a 足関節上腕血圧比(ABI)測定
 - b 頸動脈エコー検査
 - c Holter心電図
 - d 心エコー検査
 - e 脳波
- 2 公的医療保険の給付対象となるのはどれか。
- a 禁煙治療
 - b 正常分娩
 - c 人間ドック
 - d 介護予防サービス
 - e 日本脳炎の予防接種
- 3 関節痛を伴う皮膚疾患はどれか。
- a 類乾癬
 - b 魚鱗癬
 - c Sweet病
 - d 菌状息肉症
 - e 自家感作性皮膚炎
- 4 発汗について正しいのはどれか。
- a エクリン汗管は毛嚢に開口する。
 - b アポクリン腺は掌蹠に分布する。
 - c アポクリン腺は断頭分泌により発汗する。
 - d エクリン腺発汗量は性ホルモンにより調節される。
 - e エクリン腺による発汗はアドレナリン作動性である。
- 5 医師の届け出義務が医師法に規定されているのはどれか。
- a 異状死体
 - b 食中毒患者
 - c 被虐待児童
 - d 麻薬中毒患者
 - e 医薬品による副作用
- 6 ショックの原因とその対応の組合せで正しいのはどれか。
- a 敗血症——大量輸液
 - b 大量出血——副腎皮質ステロイド投与
 - c 緊張性気胸——陽圧換気
 - d 肺血栓塞栓症——ジギタリス投与
 - e 高カリウム血症——硫酸マグネシウム投与
- 7 心音のⅢ音について正しいのはどれか。
- a 低調な音である。
 - b 座位で増強する。
 - c 収縮期に聴取する。
 - d 大動脈弁領域で聴取しやすい。
 - e 小児で聴取すれば病的である。
- 8 急性期の脳梗塞でt-PA(tissue plasminogen activator)の投与が禁忌となる検査値はどれか。
- a 血糖200mg/dL
 - b 血小板15万/mm³
 - c 収縮期血圧180mmHg
 - d PT-INR2.0(基準0.9～1.1)
 - e NIHSS(NIH stroke scale)20/42点
- 9 消化管穿孔による汎発性腹膜炎手術の終了後、手術室を退室する前に腹部エックス線撮影を行った。
- 確認すべきなのはどれか。3つ選べ。
- a 胃管の位置
 - b 鏡面像の有無
 - c ドレーンの位置
 - d 腹腔内異物の有無
 - e 腸腰筋陰影異常の有無
- 10 成人の栄養状態評価に用いられる皮下脂肪厚の計測部位はどれか。
- a 母指球
 - b 顎下正中
 - c 額部正中
 - d 下腿後面
 - e 上腕伸側

「新春随想」原稿募集

平成29年1,2月号に恒例になりました「新春随想」欄を企画いたしております。
この欄は大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

題 材 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句等なんでも結構です。
本文に関連した写真・イラスト等(1枚程度, カラー印刷はできません)
も掲載できます。

字 数 800字以内(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがありますのでご了承ください)

締 切 平成28年12月10日(出)

宛 先 宮崎県医師会広報委員会

- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
- ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり、1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他紙に掲載、または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は、会員以外(マスコミ・行政・図書館等)にも配付しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法(FAX, 郵便等)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル、ご氏名を明記の上お送りください。

各都市医師会だより

児 湯 医 師 会

なが とも かず ゆき
会 長 永 友 和 之

「SMAPは解散しますが、あなたたちは解散しないで！」というご婦人方のリクエストにお応えして、イケメン理事がまたまた登場しました。若さと知性をみがきすぎて化けの皮が剥げないよう気をつけながら、医師会活動を頑張りたいと思っております。

では、還暦をすぎても凜凜しすぎる理事などの近況を報告いたします(年令順、敬称は略)。

会長の永友和之は、脊柱管狭窄症に苦しんでいます但誰も同情してくれません。記憶障害や判断力の低下も著明で、理事会が混乱しています。代わって副会長の蟻塚がアイコンタクトでチームをまとめています。さすが眼科医である。風紀委員長でもある彼は夜のパトロールにもご熱心です。ピック病(常同行動)の疑いがあります。博学の大森は、児湯の内科医会の会長さんです。活字大好き人間で、彼の達筆は素人さんには読めないようです。

総務・会計の黒木は火の車の財政の消火作業におおわらわですが、油を注ぐ理事(主に会長)がいまですので、鎮火のメドはたちません。頼まれるとイヤと言えない坂田は厄介な仕事を全部受けています。職員の苦情相談の窓口にもなっています。

県理事の米澤は10月16日に児湯地区で開催される「宮崎県総合防災訓練」の責任者としてその準備に余念がありません。お好み焼きも生ビールも終わってからでしょ。高山は県の小児科医会の会長になり、多忙になりました。マンネリ化したテニスをやめるよい機会となるはずですよ。

以上が60才以上の理事の横顔です。若手理事に関しては、紙面の都合で割愛いたします。

追伸

- ①喜多保一郎先生が家事情で理事をやめましたが、小児関係の仕事は今まで以上にすることになっています。川南町から糸井仁先生が新理事となりました。
- ②久々に新規開業がありました。「おりたこどもクリニック(織田真悠子先生)」です。医師国保常務理事・高橋政見先生の娘さんです。

役員等名簿 (任期 平成28年6月23日定時総会終結後～平成30年6月定時総会終結時)

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	永友 和之	泌尿器科	永友クリニック	総括 児湯准看護学校長
副会長	蟻塚 高生	眼科	蟻塚クリニック	医療安全対策，諸規定検討委員会 倫理向上・自浄作用活性化委員会 児湯准看護学校副校長
理 事	大森 史彦	内科，循環器内科 腎臓内科，漢方内科 小児内科	大森内科医院	学校検診委員会，健康教育委員会 心臓・腎臓検診，東洋医会
〃	黒木 宗俊	内科	黒木内科医院	総務，会計，地域医療構想委員会 宮崎中部地域産業保健センター 産業医部会
〃	坂田 師隣	婦人科	坂田病院	医師協同組合総代 医師国保会議員 児湯准看護学校主事
〃	米澤 勤	外科	海老原総合病院	県医師会理事，救急災害医療 勤務医部会 病院部会・医療法人部会
〃	高山 修二	小児科 アレルギー科	たかやま小児科	小児科医会 心臓・腎臓検診
〃	永田 昌彦	循環器科，胃腸科 内科，外科	木城クリニック	県在宅医療協議会 へき地出張診療委託医師
〃	北村 洋	外科 消化器科，内科	北村医院	医療保険委員会，会員福祉委員会 外科医会
〃	内田 俊浩	内科	内田医院	学術生涯教育，児湯内科医会
* 〃	糸井 仁	内科，消化器内科 皮膚科	糸井医院	学術生涯教育委員会
〃	永友 淳司	外科，内科，胃腸科 リハビリテーション科	ながとも医院	医療関係者対策，医師確保対策 国民健康保険審査会審査委員
〃	山口政一郎	整形外科，放射線科 リハビリテーション科	山口整形外科	情報システム委員会 介護保険委員会 労災部会・自賠委員会
〃	野津手大輔	内科	野津手・加来 内科医院	公衆衛生・感染症委員会 内科医会評議員，医師協同組合総代 学校医部会評議員，在宅医療協議会
監 事	鶴 敬雄	外科，胃腸科，肛門科	鶴外科胃腸科	
〃	崎濱 國治	胃腸科，外科 消化器科	崎浜胃腸科医院	
議 長	茂木 晃			
副議長	高橋 政見	小児耳鼻咽喉科	おりたこども クリニック	医師国保組合常務理事

*は新任

各都市医師会だより

西都市西児湯医師会

会 長 ^{まつ}松 ^{もと}本 ^{ひで}英 ^{ひろ}裕

本年6月27日の定時総会にて、当医師会は会長以下新体制になりました。岩見晶臣前会長を継ぎ、松本が会長に就任しました。そして規約を改正し、仕事の分散を図る意味でも、副会長を3人置くことにしました。副会長は黒木重晶先生、鶴田明士先生、大塚康二郎先生にお願いし、皆、理事経験者ですので、頼もしいサポート医として、屋台骨を支えていただいております。理事には水田能久先生、上山裕史先生に留任していただき、上野尚美先生、片山陽平先生に新たに理事へなっていただきました。なかでも、西米良村(西児湯)の片山先生が加わっていただいたことに感謝しております。今まで西米良村の先生が執行部に入られたことがなく、今後スカイプも利用し、参加に負担がかからないよう配慮したいと思います。監事には相澤潔先生に留任していただき、兒玉健二先生に新規加わっていただきました。お二人とも会長経験者ですので、的確なご指導をいただけていると思っております。また顧問には富田雄二先生に留任していただき、新たに大塚直純先生、前会長の岩見晶臣先生にお願いしました。他、新規には大塚和子先生に議長、河野立先生に副議長をお願いしました。

さて西都児湯医療センターのご尽力により、一次救急を19時～23時まで行っている所ですが、私としては更なる充実を目指したいと考えています。そのためには、行政と良好な関係を築き、関わりを密にしていくことが必要と考えております。また、在宅医療の推進に対し、認知症対策も含めて、行政および多職種と連携し、全面的に協力していきたいと考えています。A会員22名、B会員19名の医師会ですが、“和”を大切にし、職務を全うしたいと思います。

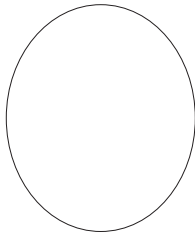
今後とも県医師会はじめ皆様方のご支援、ご協力のほどよろしくお願いします。

役員等名簿 (任期 平成 28年 6 月 27日定時総会終結後～平成 30年 6 月の定時総会終結時)

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
* 会 長	松本 英裕	整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科	三財病院	総括, 学校保健, 医療事故 産業医, 在宅医療
* 副会長	大塚康二郎	形成外科 美容外科, 皮膚科	大塚病院	労務, 会計
* "	黒木 重晶	内科, 胃腸科	黒木胃腸科医院	総務, 学術, 公衆衛生
* "	鶴田 明土	整形外科 リハビリテーション科	鶴田病院	医療保険, 救急医療
* 理 事	上野 尚美	内科, 腎臓内科	上野医院	腎臓・糖尿検診
"	上山 裕史	整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科	上山医院	介護保険
* "	片山 陽平	内科, 総合診療	西米良診療所	会員福祉・文化厚生
"	水田 能久	内科	水田内科医院	心臓検診
監 事	相澤 潔	内科, 麻酔科 リハビリテーション科	三財病院	
* "	児玉 健二	内科, 循環器科	児玉内科 クリニック	
* 議 長	大塚 和子	皮膚科	大塚皮膚科医院	
* 副議長	河野 立	整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科	この整形外科	
* 顧 問	岩見 晶臣	小児科	いわみ小児科医院	
* "	大塚 直純	外科, 消化器科 胃腸科	大塚病院	
"	富田 雄二	内科, 循環器科 小児科	富田医院	

*は新任

メディアの目



体内時計

宮崎日日新聞社 報道部長

すぎ お まもる
杉 尾 守

自前の目覚まし時計を持っていない。「あしたの朝は5時に起きよう」と思ったら、自然とその時間に目が覚めてしまう。寝過ごすといったら、前日にひどく飲み過ぎた時ぐらいだろうか。とにかく、これまであまり目覚まし時計の必要性を感じたことがない。

人間の体はよくできていると思っていたら「体内時計」が影響しているらしい。地球上のさまざまな生物は地球の自転に合わせた24時間のリズム性を持っていて、体内時計は1日の目覚めや眠りのタイミングをつかさどるという。日の出や日の入りを目安に活動し、朝になれば目が覚め、夜になると眠くなるというわけだ。

その不思議な体内時計をテーマにした公開講演会が宮崎市であった。講師は、体内時計と健康との関係に詳しい山口大学時間学研究所の明石真教授。体内時計は人間が効率よく生活するのに役立っているらしく、脳(視交叉上核)だけではなく、臓器や細胞の一つ一つにも存在しているというから驚いた。

ただ、体内時計に狂い(ずれ)が生じれば、病気にかかるリスクも高くなるという。ずれの原因には生活習慣の乱れなどが指摘され、夜更かしもその一つ。夜になっても眠くならず、睡眠障害に陥るといったケースも少なくない。ほか

にも気分障害、動脈硬化、高血圧、糖尿病…。これだけ多くの病気を挙げられると、体内時計がいかに肝要なものなのか思い知らされる。

気になるのは、子どもへの影響。「朝が起きられない」、「昼間は眠くてたまらない」と話す子どもを見聞きすれば、体内時計の「変調」によるものではと思ってしまう。スマホやゲームで夜更かしをし、起床する時間が遅れる。「遅起き」により昼夜が逆転し、慢性的な睡眠不足になる。体内時計が乱れるのは当然だろう。

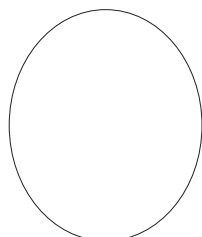
以前、「睡眠は脳をつくるのに重要な時間」と聞いたことがある。睡眠をないがしろにすれば、成長は阻害され、学習の遅れにもつながる。安定した睡眠を確保するためには、狂いの生じた体内時計をリセットすればいいと思うが、その鍵を握るのが朝の陽光であり、朝ご飯という。まさに早寝、早起き、朝ご飯で、体と心のリズムが整えられる。

子どもに規則正しい生活習慣を身につけさせるには親の目配りが大切だ。親自らが実践して示すのもいいし、小さい子どもがいるならば週末ぐらいは家族と一緒に寝てはどうだろう。話は変わるが、私自身、若い時に比べ早く寝て、早起きするようになった。これは体内時計の針が早く回りすぎているから？

宮崎大学医学部だより

宮崎大学医学部附属病院

ー薬剤部ー



ありもり かずひこ
有森 和彦 教授

当薬剤部は平成24年に全国に先駆け病棟薬剤業務をスタートさせております。病棟薬剤業務とは、各病棟のスタッフステーションの横に配置した病棟薬剤師室に薬剤師が常駐し、薬物療

法の有効な実施と安全を確保することを目的とした総合的薬学的管理を行う業務です。実施開始時の状況につきましては本誌762号で紹介いたしましたが、今回はその後の経過と実績について具体的にご紹介いたします。

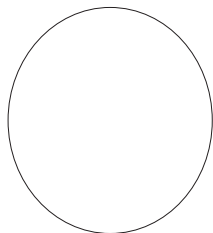
病棟薬剤業務の実施に伴う算定要件の中に「持参薬の確認と入院時の服薬計画の提案」という項目があります。以前から一部の診療科や医師から依頼があった場合等は持参薬の鑑別をしておりましたが、病棟薬剤業務のスタートと同時に、月500～600件の全診療科の持参薬を薬剤師が確認して電子カルテへ鑑別入力し、必要に応じて服薬計画を提案することを始めました。そして医師の先生方はその鑑別結果を確認後、これを利用して必要な薬のみを処方へ展開することができるシステムを構築いたしました。医薬品はその種類や品目が年々増えていき、さらに近年は多くの後発医薬品が上市されております。このような状況の中、ご自身の専門外の医薬品が大半を占める環境において、患者さんが持参した医薬品の全てを医師の先生方が鑑別して、院内の処方に変えていくのは時間も労力もかかり、医療安全の面からも負担が大きかったと察せられ、医師の先生方から高く評価いただいていることを実感しているところで

あります。また、平成26年4月の診療報酬改定では、持参薬の中でも、入院の契機となった傷病の治療に係る持参薬を院内で用いることは原則禁止され、やむを得ず持参薬を用いる場合には、その理由(特別な理由)を診療録に記載することが求められることとなりました。これに対応して、入院の契機となった傷病の治療に使用していたと考えられる持参薬については、薬剤師が、先に紹介しました電子カルテに、そのことがわかるように結果を報告しております。これにより、医師の先生方が、入院の契機となった傷病の治療に係らない持参薬を院内で処方に展開することがスムーズにできるようにしています。

また、薬剤師は、以前より医薬品に関連する医療スタッフからの質問を医薬品情報室において受けておりましたが、病棟薬剤業務を開始してからは医薬品情報室ではなく直接病棟薬剤師室の薬剤師が受けることができるようになりました。その結果、医薬品情報室のみで対応していた時と比較して質問の件数は2.5～3倍に増加しております。これは、非番や深夜明け等に他の薬剤師がサポートに入る以外は、ほとんど毎日同じ薬剤師が常駐しているため、心理的にも物理的にも、医師の先生方が私達薬剤師を身近に感じてくださるようになったおかげと、感謝しているところであります。

日々目覚ましい進歩を遂げていく医療環境の中、医師の先生方が医療行為の全般に亘って統合し患者さんの治療を進めていかなければならないお立場において、薬剤師として薬物療法に貢献できるよう努力している次第ではありますが、今以上に邁進していこうと考えておりますので、医師会の先生方におかれましては、今後とも温かいご指導を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。(副部長 岩切 智美)

専門分科医会だより (皮膚科医会)



なりた ひろみ
成田 博実 会長

今年度は3名の新入会員があり、総勢51名になった。マンパワー不足では何もできないので、素直に喜びたい。皮膚科医会の事業は例年同じである。年3回の例会と講演会の開催、医会誌「皮膚科だより」の年2回発行、皮膚科啓発用のポスター制作、そして「皮膚

の日」講演会の開催である。

例会は6月、9月、2月の土曜日に、宮崎県皮膚科医会と日本臨床皮膚科医会宮崎県支部との合同で行う。今年度6月の1回目は、それぞれ第131回と第14回の例会となった。会場はいつも県立宮崎病院3階講堂である。

例会で開催する勉強会を宮崎県皮膚科懇話会、略して宮懇会と呼称している。日州医事でも広報していて、オープンな勉強会にしている。今年6月の講演会のテーマは、「ダニ媒介感染症(SFTSを中心に)」で、県立宮崎病院感染症内科山中篤志先生に講演していただいた。宮崎県では重症熱性血小板減少症候群SFTSの症例が全国最多の30例を超え、マダニ刺症の患者さんに「稀な病気だから心配しなくて大丈夫ですよ」とは、簡単には言えなくなった。熱発する割にはCRP上昇が少ないのが特徴らしい。死亡例は痙攣等の中枢神経症状がおこって短時間にスーッと亡くなり、剖検では全身臓器に激しいウイルス感染があるとのこと。ほかにも多くのことを学び、日常診療に役立つ知識を得られた。9月例会では、「ウイルス性肝炎、最近の話題」を宮大肝疾患センターの永田賢治准教授にお話いただく。ステロイド、シクロスポリン等を処方する皮膚科医にとって、B型肝炎の再活性化は気掛かりな問題で、有益な講演が期待できそう。来年2月は宮大皮膚科の先生にお願いする予定である。

今年のポスター制作は27枚目で、タイトルは「爪の病気」と年度初めに早々と決定した。夏場に少数精鋭による制作会議を8回ほど行い、何とか完成できた(図)。質の高いポスターと自負

している。本誌の読者でポスターをほしい方には差し上げますので、ご連絡下さい。

皮膚の日講演は、いつもの宮日会館で、11月12日(いいひふの語呂合わせで、日本臨床皮膚科学会が平成元年に皮膚の日と制定)の前の11月6日(日)に予定している。常連講師の出盛允啓先生に「いろいろなダニによるいろいろな病気」についてお話いただく予定である。今年もリピーターが増えて盛況になりそう。今年から保険付きの託児所を準備した。今までは保険については無頓着だったが、宮大の古結英樹先生に指摘されて改めることにした。また、昨年と同様に過去のポスターを10枚程度用意して、聴衆と参加皮膚科医との質疑応答で県民との交流の場を設けたい。昨年の反省材料であった若い人の参加を期待している。看護学校生、医学部学生、一般大学生の参加を呼びかけたい。過去2年ほど県医師会から補助金をいただき、有効に活用させてもらった。今年も補助金申請を準備中である。

(成田 博実)

第17回宮崎県医師会医家芸術展

今回で第17回を迎えました医家芸術展は、8月10日(水)から14日(日)まで県立美術館県民ギャラリーにて開催されました。延べ52名の医師会員及びご家族の方々より書道・絵画・写真の3部門に140点ご出展いただきました。なお、今回出展された作品の一部につきましては、作者の許可を得まして、今年11月からの日州医事の表紙を飾る予定となっております。

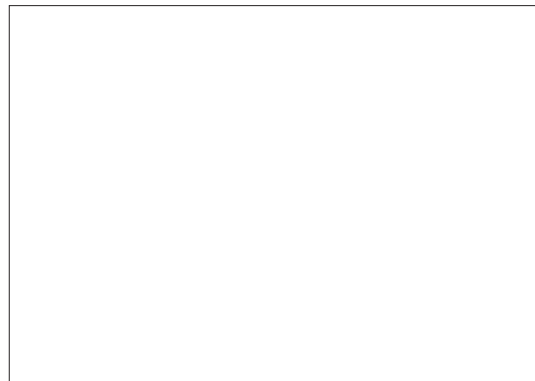
また、世話人の山内励先生(書道)、藤木浩先生(絵画)、押川紘一郎先生(写真)には多大なご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

開催期間中の入場者は1,169人を数えました。毎年の恒例行事として定着していることが感じられます。

開催期間中の入場者数は以下のとおりです。

8月10日(水)191人、11日(木)218人、12日(金)210人、13日(土)245人、14日(日)305人、5日間計1,169人
来場者の方々からの感想をほんの一部ですが紹介いたします。

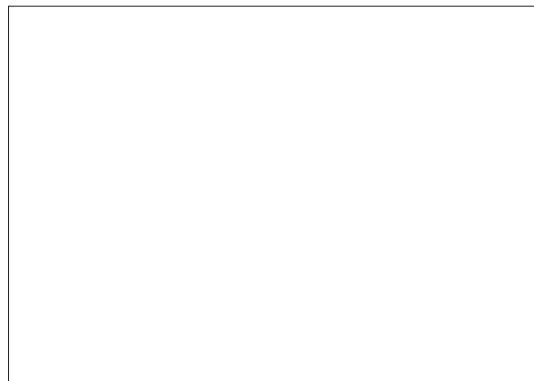
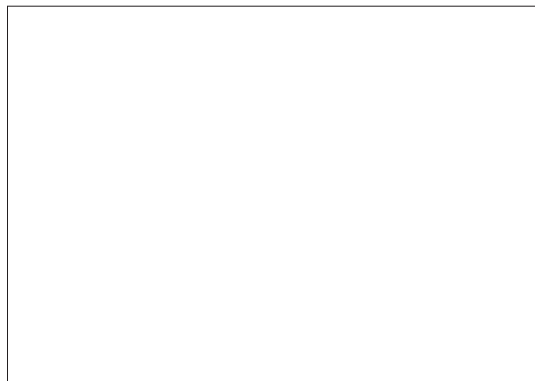
- 毎年楽しみに鑑賞させて頂いています。写真、絵画、書道、どれも見応えがあり、ご多忙の中製作に取り組んでこられたお姿が目に見えます。作品の一つ一つにたくさんの“愛”を感じとれました。有難うございました。
- 現実的な日常、どこかでいつか？昨日にも見たような描写で、すごく、心の中がさわやか



になり明日も頑張ろうと思えてきた。孫も来ました。ありがとうございます。さすがしく思いました。

- 楽しい。色がきれい。遊び心有り。ゆとりを見た。時間をたっぷりかけている。欲が無い。子供みたいな心を感じました。アートは自由です。来年の遊びが待ち遠しい。この展覧会は一人ひとりの楽しみが出ています。先生方のゆとりある生き方をみせてもらい元気が出ました。
- みんな、写真、絵画、書、すばらしいですね。また来年も見せて下さい。

来年の医家芸術展は、平成29年8月9日(水)から13日(日)の5日間、県立美術館で開催する予定です。会員及びご家族の皆様の作品をお待ちしております。

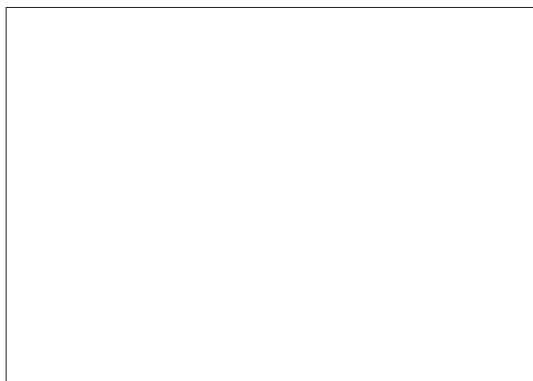


第60回九州ブロック学校保健・学校医大会 平成28年度九州学校検診協議会(年次大会)

と き 平成28年8月6日(土)～7日(日)

ところ ホテル日航熊本(熊本市)

メインテーマ:「地域社会が支える子どもの未来
～子どものメンタルヘルスの
正しい知識～」



8月6日、7日に熊本市において九州ブロック学校保健・学校医大会ほか関連行事が開催された。

7日午前開催された平成28年度九州学校検診協議会では、心臓・腎臓・小児生活習慣病に今年度は運動器が加わり、各部門ごとに教育講演が行われた。心臓部門では、「心房中隔欠損症の診断から治療まで」と題し、熊本市立熊本市民病院小児循環器内科 松尾倫先生、腎臓部門では、「生活習慣病としての慢性腎臓病とその対策」と題し、熊本大学大学院生命科学研究部腎臓内科学分野教授 向山政志先生、小児生活習慣病部門では、「小児の生活習慣病予防と検診プログラム」と題し、熊本大学大学院生命科学研究部小児科学分野准教授 中村公俊先生、運動器部門Ⅰでは「学校検診における運動器検診の進め方」と題し、熊本県医師会学校保

健委員会委員・おぐに整形外科院長 梅田修二先生による講演が行われた。

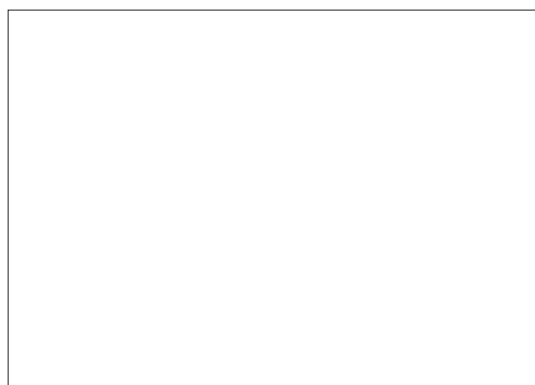
同日午前に開催された眼科・耳鼻咽喉科・運動器Ⅱの各分科会において、眼科部門では、「ロービジョンケア」と題し、いなだ眼科院長 稲田晃一朗先生、「コンタクトレンズの眼障害」と題し、みやじま眼科院長 宮嶋聖也先生、耳鼻咽喉科部門では「小児の音声障害と気道管理」をテーマに、「小児の音声言語障害」と題し、朝日野総合病院常任顧問 湯本英二先生、「小児の気道管理～気道狭窄と誤嚥に対する対応～」と題し、熊本大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科講師 鮫島靖浩先生、運動器部門Ⅱでは、「学童期スポーツ指導者・保護者へのアンケート調査～指導内容と予防への関心～」と題し、リハビリテーションセンター熊本回生会病院診療部長・熊本バスケットボール協会副会長 鬼木泰成先生による講演が行われた。

午後からは九州医師会連合会学校医会総会が開催され、次期開催県の池田佐賀県医師会会長から、第61回大会は、平成29年8月5日(土)～6日(日)に、ホテルニューオータニ佐賀(佐賀市)において開催されることが発表された。その後、第60回九州ブロック学校保健・学校医大会基調講演が開催され、初めに「肥後っ子サポートセンターの取組みについて～サイバー補導を中心に～」と題し、熊本県警察本部少年課少年サポートセンター係長 布田明子先生による講演があり、インターネットに起因する子どもの被害を

防止するため、サイバーパトロールにより、子どもによる不適切な書き込みを見つけ、「サイバー補導」を実施する取組みについての紹介やその実態について述べられた。次に「電子メディアの子どもに与える影響」と題し、熊本大学医学部附属病院神経精神科(熊本県発達障

い医療センター)特任助教 田中恭子先生の講演が行われ、電子メディアの不適切な使用による子どもの肥満割合の増加、体力や筋力の低下、睡眠不足、メンタルヘルス等、生活や健康に与える影響について述べられた。

平成28年度九州学校検診協議会幹事会



九州医師会連合会の福田会長、九州学校検診協議会の松田会長の挨拶の後、慣例により、松田会長が座長に選出され、協議に入った。

1. 平成28年度九州学校検診協議会役員について

福岡県より九州各県医師会の役員改選に伴う本協議会役員について報告があった。

2. 平成27年度九州学校検診協議会の事業報告並びに決算について

福岡県より事業報告並びに決算について報告があった。

3. 平成28年度九州学校検診協議会の事業計画(案)並びに予算(案)について

福岡県より事業計画並びに予算について説明があった。平成28年度も専門委員会を2回開催すること、各県の分担金を含めた予算案も含め全会一致で承認された。

4. 平成28年度九州学校検診協議会第1回専門委員会について

先に行われた各専門委員会別協議事項について心臓・腎臓・小児生活習慣病の部門ごとに報告が行われた。

5. その他

佐賀県医師会成人病予防センターが来年度より他法人と事業統合し、公益財団法人佐賀県健康づくり財団として事業を行うため、医師会とは別法人となるが、引き続き、九州学校検診協議会に参加することが承認された。

出席者一河野会長、富田副会長、

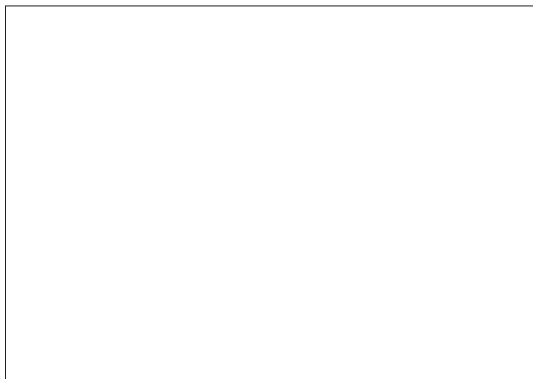
高村常任理事、高木・

宮田学校医部会理事、山内事務局長、

久永課長、野尻課長補佐、

畠中主事

九州各県医師会学校保健担当理事者会 (日本医師会学校保健担当理事との懇談会)



福田熊本県医師会長の挨拶の後、慣例により、福田会長が座長に選出され協議に入った。なお、道永日医常任理事が欠席のため、日医のコメント及び中央情勢報告は中止となった。

協 議

1. 九州各県の脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態の検査に関する取組み状況について(鹿児島県)

昨年度、県教育委員会ならびに県整形外科医会と協議を行い、今年度からフローチャートにそって実施している。次年度の実施方法等を検討するに当たり、九州各県に下記について伺いたいとの提案理由が説明された。

(1)実施方法について

各県とも教育委員会等と検討し、マニュアルやフローにそって検診を実施していた。

(2)日本臨床整形外科学会から県整形外科医会宛に「運動器検診後の受診勧告児童・生徒等の実態調査のお願い」が届いている。その調査に協力していただくことで、対象生徒数等を把握したいと考えている。独自に調査等を実施予定があるか伺いたい。

多くの県で受診勧告児童・生徒数については把握できておらず、文科省が県教育委

員会に対して行っている児童生徒の健康診断実施状況調査の報告待ちの状況である。

(3)次年度の実施方法等を検討するに当たり、改善点・問題点等を伺いたい。

一部現場で混乱が見られるところがあった。各県とも実施状況を確認の上、次年度の実施に向け検討する。

2. 九州各県の色覚検査に対する対応について(鹿児島県)

色覚検査については、「学校医による健康相談において、児童生徒や保護者の事前の同意を得て個別に検査、指導を行う」となっていることから、一部の学校現場で、学校医が実施するものとして解釈され混乱が生じている。学校での色覚検査は、あくまでスクリーニングであり、養護教諭等が実施し、「色覚異常」の児童生徒については学校医に相談のうえ、専門医への受診勧奨することが望ましいと考えるとの提案理由が説明された。

養護教諭が行うべきか具体的検討が行われていない県もあったが、学校医ではなく、養護教諭等学校側が実施すべきという認識を持つ県が多かった。

3. 発達障害に対する継続的な支援体制について(鹿児島県)

発達障害は、早期発見し、各ライフステージにおいて継続した支援が重要となる。鹿児島県では、平成23年3月から県教育委員会が特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒を対象に「移行支援シート」を作成し、幼稚園・保育園から、小・中・高等学校の卒業までを継続的に支援するための制度や小学校と幼稚園・保育園等との連絡会の実施など連携した体制作りを推進している。しかしな

がら、幼稚園・保育園や学校関係者、医師等の関係者も含め、発達障害に対する理解は未だ不十分であり、上手く情報伝達が図れない現状がある。他県において、発達障害に対し継続して支援する取組みがあればご教示いただきたいとの提案理由が説明された。

各県とも幼稚園・保育園から小・中・高等学校まで継続して支援する取組みが行われているが、万全なものとは言えず問題点も見られた。

4. 「性と心の健康相談事業」の現状と今後の方向性について(福岡県)

福岡県では、福岡県医師会と、福岡県産婦人科医会と福岡県精神科病院協会が連携し、県内の公立高校95校にそれぞれ産婦人科・精神科専門医を派遣する「性と心の健康相談事業」を行っている。学校保健協力事業の一環として、1)生命の重要性、2)人口減少・晩婚化・高齢妊娠の問題点、3)性活動・性感染症・性被害の予防、4)児童虐待の予防、5)健全なリプロダクション、6)思春期のメンタルヘルス等が謳われているが、情報化社会と呼ばれる現在、対象を高校生のみならず、底辺を幅広くし、小学校高学年よりこのような相談事業を拡張することが望ましいと考える。各県で同じような事業展開や医師会が関わる事柄があれば、御教示、御意見をいただきたいとの提案理由が説明された。

各県とも同じような取組みが行われており、高等学校だけでなく小・中学校を対象に行われている県もあった。

5. 学校保健安全法施行規則の改正に伴う問題点について(福岡県)

平成26年に「学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令(平成26年文部科学省令第21号)」が公布され、児童生徒等の健康診断の検査項目等の見直しを行うとともに、職員の健康診断、就学時健康診断の様式等について改正が行われた。その内、児童生徒等の健康

診断に係る改正規定等は本年4月1日から施行されているところであるが、成長曲線の積極的利用について伺いたいとの提案理由が説明された。

各県教育委員会から各学校に対し、成長曲線を積極的に活用することを周知している。詳細については、文科省が県教育委員会に対して行っている児童生徒の健康診断実施状況調査の報告待ちの状況である。

6. 今年度の学校健診の状況について(長崎県)

文科省から、平成26年4月30日付けで学校保健安全法施行規則の一部改正の通知がなされ、平成28年4月1日から施行された。これに伴い、学校健康診断の現場において、運動器検診での混乱は起こっていないだろうか。また、児童生徒等の発育の評価には成長曲線等を積極的に活用することとなり、日本学校保健会作成の児童生徒等の健康診断マニュアル(平成27年度改訂)では、「栄養状態についての最終的な評価は、学校医が総合的に判断して行うもの」とされているが、現場の学校医からは、「成長曲線等を検討して的確な判断をするのは難しい」という声もあがっている。各県の対応及び日本医師会に問題点等が上がっていないかを伺いたいとの提案理由が説明された。

運動器検診実施により一部現場で混乱が見られるところがあった。各県とも実施状況を確認の上、次年度の実施に向け検討する。

成長曲線の活用については、各県教育委員会から各学校に対し、積極的な活用について周知している。詳細については、文科省が県教育委員会に対して行っている児童生徒の健康診断実施状況調査の報告待ちの状況である。

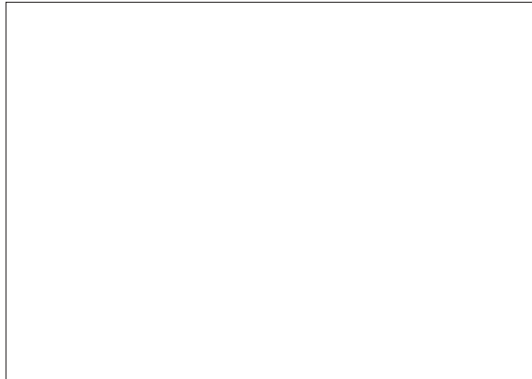
出席者一河野会長、富田副会長、

高村常任理事、山内事務局長、

久永課長、野尻課長補佐、畠中主事

平成28年度九州医師会連合会学校医会評議員会

福田熊本県医師会長の挨拶の後、福田会長が議長に選出され議事が進行された。



報 告

1. 平成27年度九州医師会連合会学校医会事業について(長崎県)
2. 平成27年度九州医師会連合会学校医会歳入歳出決算について(長崎県)
長崎県より資料に基づき報告があり、
1. 2. ともに承認された。
3. 平成28年度九州医師会連合会学校医会事業経過について(熊本県)

熊本県より資料に基づき報告があった。

議 事

- 第1号議案 平成28年度九州医師会連合会学校医会事業計画に関する件(熊本県)
- 第2号議案 平成28年度九州医師会連合会学校医会負担金並びに歳入歳出予算に関する件(熊本県)

熊本県より説明があり、原案どおり承認された。

第3号議案 第61回・第62回九州ブロック学校保健・学校医大会開催担当県に関する件(熊本県)

第61回(平成29年度)大会を佐賀県担当で開催することが提案され承認された。日程は、平成29年8月5日(土)～6日(日)、佐賀市のホテルニューオータニ佐賀で開催予定。

また、第62回(平成30年度)大会を鹿児島県担当で開催することが内定した。

協 議

1. 平成30年度全国学校保健・学校医大会及び九州ブロック学校保健・学校医大会の取扱いについて(鹿児島県)

平成30年度は鹿児島県医師会が九州医師会連合会と九州ブロック学校保健・学校医大会を担当することになっており、さらに全国学校保健・学校医大会の担当も務めることが決定している。ついては、平成30年10月27日(土)に九州ブロック学校保健・学校医大会(分科会・基調講演)及び九州学校検診協議会(年次大会)を全国学校保健・学校医大会と兼ねて開催することが提案され承認された。

出席者一河野会長、富田副会長、

高村常任理事、山内事務局長、

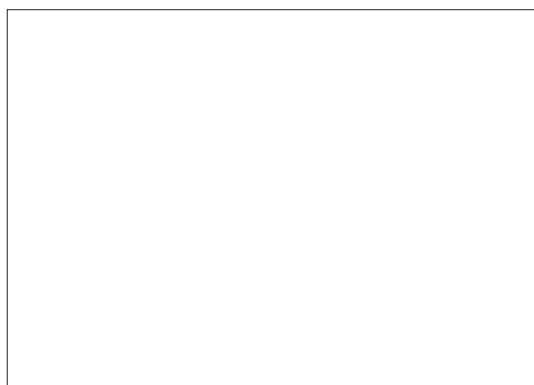
久永課長、野尻課長補佐、畠中主事

平成28年度九州学校検診協議会第1回専門委員会

と き 平成28年8月6日(出)

ところ ホテル日航熊本(熊本市)

1. 心臓部門 座長：吉永 正夫 (鹿児島県医師会学校保健委員会委員)



提案事項

1) 九州各県における学校管理下の心臓突然死 (平成27年度)について(福岡県)

日本スポーツ振興センターからの情報提供資料により報告があった。九州内での平成27年度の学校管理下の心臓性突然死は、平成27年度は福岡県の高校生男子生徒の1例であり、本症例の詳細な報告があった。

2) 心臓検診時の統一病名(平成27年度)について(九州各県)

学校心臓検診は、各医師会で体制が異なり、検診医師も異なっているため抽出率にばらつきがある。本県の場合は2次検診がなく1次検診の次は精密検診となる地域が多いが、今回の本委員会での報告では2次検診への抽出率は小学校1年で1.4～6.0%、中学1

年生で2.0～9.0%であった。本委員会ではばらつきを少なくしていくための検討をしていくこととなった。

3) 若年者の心肺蘇生事例調査(対象期間： H27. 1. 1～H27. 12. 31)について(九州各県)

九州各県医師会が19歳未満の心肺蘇生事例を詳細に調査し、本委員会に報告しており、その集計報告があった。県によっては、消防等の調査協力が十分に得られていないところもあるが、報告数は年毎に増加している。

平成24～26年の過去3年間の報告数は276件で、うち心血管疾患は28件(10%)、平成27年の総報告数は155件(実件数145件)で、うち心血管疾患は14件(10%)であった。

個人情報等に細心の注意を払いながら、突然死予防について全国に発信したい。

4) 調査結果の関係機関の開示について

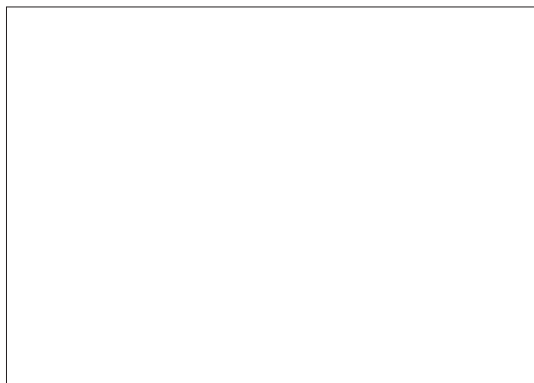
(事務局)

統一病名調査に関しては専門性が高いため、医師を対象にフィードバックする。

心肺蘇生事例調査については、教育委員会、医師会、消防関係へフィードバックする。内容は、九州全体のデータの概数(各県ごとのデータは出さない)、AED使用のうち何名救命できたのか、予後等とし、委員長が作成し、その後各委員に内容を確認する。

出席者一高木学校医部会理事、久永課長

2. 腎臓部門 座長：服部 新三郎 (熊本県医師会学校検診委員会委員)



提案事項

1) 平成27年度腎臓検診結果の集計について

今回から血尿単独陽性者、蛋白尿単独陽性者、血尿＋蛋白尿陽性者に分類し集計を行った平成27年度腎臓検診の集計結果について報告があった。

一次・二次の受検率は9割以上なのに対し、三次は6割弱と低い。理由としては、毎年結果が同じ所見になるため受検しないケースや、費用の問題等も考えられるとの意見があった。

2) 学校検尿の検診結果の記録と表示について (宮崎県)

九州学校腎臓病検診マニュアルによる検診が行われるようになり、結果を毎年集計し、福岡県メディカルセンターで保管している。専門委員会では毎年の検診結果は報告されているが、学校医への結果のフィードバックは十分行われていない。毎年8月に行われる九州ブロック学校保健・学校医大会のプログラムに毎年結果を報告するようにしてはどうかとの提案を行った。

集計結果について、全県のコンセンサスを得た上で福岡県メディカルセンターのホームページに掲載していく方向で検討していくこ

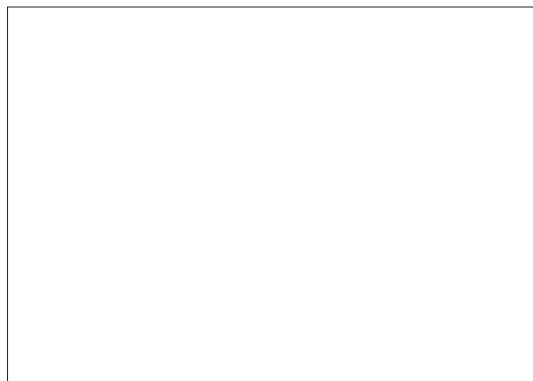
とになった。集計データについては、一部不正確な部分があるため、集計方法を精査する必要があるとの意見があった。

3) 学校検尿に関する各都市医師会へのアンケートについて(福岡県)

福岡県医師会が、学校検尿に関する課題を解決するため、尿異常分類、三次検尿受検率の改善方法、血尿・蛋白尿の判定基準、学校検尿の運営・把握状況について各都市医師会に対して行ったアンケート調査の報告があった。

出席者一宮田学校医部会理事、野尻課長補佐

3 小児生活習慣病部門 座長：田崎 考 (九州学校検診協議会専門委員)



提案事項

1) 平成27年度九州地区尿糖陽性者群集計結果のまとめについて(佐賀県)

平成27年度の尿糖陽性者は1,242名(0.11%),糖尿病(疑いも含む)と診断のついた生徒は82名(0.007%)であったことが報告された。

今回報告用の集計表の項目や方法については、「受診率の表記がなく分かりづらい。受診率を把握することが精密検査受診への啓発にも繋がるため重要な項目である」「例年、

高校生のデータ収集率が低い」等の意見があり、今回の専門委員会までの検討事項とした。

2) 小児生活習慣病予防健診の動向(活動状況)について(佐賀県)

『児童生徒等の健康診断マニュアル』が改訂され、今年度より、成長曲線・肥満曲線による栄養状態の評価が各学校で実施されているが、いじめ問題に繋がる可能性を懸念する学校関係者もあり、地域や学校間で対応に温度差がみられる。健診データの考え方・対策方法についての講習会を開催し、健診の意義について理解を深めてもらうとともに、データ処理の負担軽減の対策を立てる等、現場からの協力を得られるように働きかけを行うこととなった。

3) 北九州市の小児生活習慣病健診の受診率や集計結果について(報告)(福岡県)

平成27年度の受診希望者は23名、うち受診したのは11名であった。

北九州市では、平成26年度から、中等度以

上の肥満児童に注意喚起文を配布しているが、今年度からは、全学年を対象に高度肥満児童へは専門医療機関への受診勧奨を行っている。

そのため、現時点でも多数の受診がっており、平成28年度の結果報告は、次回もしくは次年度の専門委員会で行うことが述べられた。

4) 調査結果の関係機関への開示について

(九学検協事務局)

精密検診受診への啓発のためにも、データ収集先に結果を開示することが望ましいという意見で一致した。尿糖の集計結果については、ある程度のデータの開示が可能であるが、データ収集時に外部への公表についてどこまで了承を得ているか等の確認や、同じ学校検尿のデータを扱う腎臓部門との連携が必要であることから、引き続き協議していくこととなった。

出席者－高村常任理事、畠中主事

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「会員交流用メーリングリスト」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供(各種通知文書、研修会の案内等)

対象：会員本人、医療機関代表のアドレスなど

◆会員交流用メーリングリスト

目的：会員同士の意見交換、会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

災害が発生した場合、情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課
TEL 0985-22-5118

九州医師会連合会第 357回常任委員会

と き 平成28年 8 月27日(土)

ところ ホテル日航熊本

1 九州医師会連合会長挨拶

(熊本県医師会会長 福田 稠)

2 報 告

1) 第111回定例委員総会について

本常任委員会終了後に第111回九州医師会連合会定例委員会総会が開催される旨の報告があった。

2) その他

3 議 事

第 1 号議案 平成27年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件

第 2 号議案 平成28年度九州医師会連合会事業計画に関する件

第 3 号議案 平成28年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件

第 4 号議案 平成28年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件

第 5 号議案 平成28年度九州医師会連合会監事(2名)の選定に関する件

第 6 号議案 平成28年度第116回九州医師会医学学会事業計画に関する件

第 7 号議案 平成28年度第116回九州医師会医学学会会費賦課に関する件

第 8 号議案 次回第117回(平成29年度)九州医師会医学学会開催担当県の決定並びに次々回第118回(平成30年度)同学会開催担当県の内定に関する件

第 1 号議案から第 7 号議案について、各々審議され第111回定例委員総会に提案することが了承された。

第 8 号議案については、次回第117回は福岡県で決定、次々回の第118回は、鹿児島県が内定となった。

4 その他

1) 熊本地震に関連して、会費の取扱いについて意見交換が行われた。

日本医師会としては、東日本大震災を除いて阪神淡路大震災をはじめ新潟中越地震などを含めてこれまで地域を指定しての会費の減免は実施していないとの報告が熊本県よりなされた。

2) 福岡県より、平成28年10月20日～23日の日程で「2016年 世界医師会台北総会参加ツアー」の案内があった。

この日程の中で、22日の総会本会議で次々回世界医師会会長が内定することもあり各県へ参加の呼びかけがなされた。

出席者—河野会長、山内事務局長

九州医師会連合会第111回定例委員総会

と き 平成28年 8 月27日(土)

ところ ホテル日航熊本

1 開 会

2 挨 拶

1) 前九州医師会連合会長

(長崎県医師会長 蒔本 恭)

2) 九州医師会連合会長

(熊本県医師会長 福田 綱)

3 来賓祝辞

1) 日本医師会長 横倉 義武

2) 日本医師連盟選出国會議員

羽生田 俊, 自見はなこ両参議院議員

4 記念品贈呈

今年度, 日本医師会役員を退任した蒔本長崎県医師会長と近藤大分県医師会長並びに県医師会会長を退任された宮城沖縄県医師会会長に記念品が贈呈された。

5 報 告

1) 第357回常任委員会について

第1号議案から第7号議案を本定例委員総会に提案することと平成29年度九州医師

会医学会は福岡県で開催すること, 平成30年度は鹿児島県での開催が内定したことが報告された。

2) 平成27年度九州医師会連合会庶務並びに事業報告について

6 議 事

議案は, 常任委員会の1～7号議案に同じ第1号議案から第4号議案, 第6号及び第7号議案については原案どおり報告了承された。

第5号議案の平成28年度の監事については, 福岡県の瀬戸裕司委員, 鹿児島県の野村秀洋委員が選定された。

7 その他

出席者一河野会長, 富田副会長, 濱田副会長, 立元常任理事, 吉田常任理事
山内事務局長, 竹崎次長, 堀口主事

お 知 ら せ

クールビズについて

県医師会では, 地球温暖化防止に向け, 平成28年5月1日より平成28年10月31日までの間, 県医師会館の冷房設定温度を上げ常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため, ご理解とご協力をお願いいたします。

日医インターネットニュースから

■地域密着型サービス要件緩和や周知を

－ 介護保険部会 －

社会保障審議会・介護保険部会(部会長＝遠藤久夫・学習院大教授)は8月31日、ニーズに応じたサービス内容の見直しと被保険者の範囲を中心に議論した。中重度者の在宅生活を支えるサービス機能の強化では、看護小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービスについて要件緩和や行政職員らへの周知徹底を求める意見が上がった。今回で次期制度改正へ向けた課題の議論が一巡し、次回からさらに論点を絞って議論を深める。

介護保険では、2006年度改正で身近な生活圏域で暮らし続けることができるように小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービスを創設した。12年度改正では、単身・重度の要介護者のために定期巡回・随時対応型訪問介護看護を新たなサービス類型として追加したほか、看取りなどのために看護小規模多機能型居宅介護も導入した。いずれのサービスも事業所数、利用者数は伸びているものの、いまだ十分に普及していないため、厚労省が充実策について議論を求めた。

日本医師会の鈴木邦彦常任理事は地域密着型サービスについて「まだ現場で使いやすいものとなっていない」と指摘。定期巡回・随時対応型訪問介護看護は要件の緩和や、採算性の向上が課題とした。小規模多機能型居宅介護は「通い」や「泊まり」の定員に上限があるのは不合理とし、通いの上限を撤廃すべきと提案した。

齋藤訓子委員(日本看護協会常任理事)は看護小規模多機能型居宅介護について「保険者である市町村の理解に差があることが、事業所数が伸びない原因」と強調。周知が重要とし、地域支援事業に行政職員が理解を深める教育や研修を盛り込む案も示した。

部会ではほかにワリハビリテーション機能の強化▽安心して暮らすための環境の整備▽我が事・丸ごと」地域共生社会の実現▽ドイツの介護保険制度における介護手当(現金給付)－の課題についても議論した。

●被保険者範囲の拡大、反対意見が多数

65歳以上の第1号被保険者と、40歳以上64歳以下の第2号被保険者の在り方も議論した。第2号被保険者の年齢引き下げについて、保険者の

の委員を中心に反対意見が多かった。

岡良廣委員(日本商工会議所社会保障専門委員会委員)は「負担比率を高めるのであれば反対」と述べ、被保険者の範囲拡大よりも給付の効率化や重点化が必要とした。佐野雅宏委員(健保連副会長)も反対の姿勢を示した。鈴木委員は「中長期的には引き下げは避けられない」としたが、「現時点では時期尚早」と慎重な姿勢を示した。「若年層の理解を得られない」「国民のコンセンサスが必要」などの意見もあった。

(平成28年9月2日)

■保健医療支出データ評価に問題意識

－ 横倉会長 －

横倉義武会長は9月7日の会見で、経済協力開発機構(OECD、加盟35か国)がこのほどまとめた国内総生産(GDP)比の保健医療支出で日本が3位となったことについて、計算基準の変更で集計範囲に介護にかかる費用が幅広く含まれたことや、国ごとに保健医療制度が異なることなどを挙げて「一部のデータを取り出して日本の医療を議論するのは、誤った認識を生む可能性がある。さまざまなデータと比較して議論する必要がある」と述べた。

OECDの保健医療支出は国民医療費や介護費に加え、一般用医薬品、予防接種、健康診断、保険者の管理コストなどが含まれ、新基準の集計範囲は訪問・通所介護、介護老人福祉施設などにも広がった。これが主因でGDPに占める日本の保健医療支出の割合は11.2%(2015年推計)に上がり、10位前後で推移していた近年の順位から3位になった。

今回のデータに対して、横倉会長は65歳以上の人口比率(高齢化率)と照らし合わせれば、日本は高齢化の進行具合の割に支出は高くないことが分かる点などを挙げ、「さまざまなデータと比較しながら見るべき」と指摘。

1人当たりの費用は15位にとどまっていたデータなどを説明しながら「各国で保健医療制度が異なり、医療費推計の計算方法が提示されているとはいえ手法や範囲が異なる。国際比較データはおおまかなイメージをつかむものであるべき」と述べた。

(平成28年9月9日)

■サイバーセキュリティ対策を調査

－ 厚労省、GL改訂も －

厚生労働省は来年度、医療機関が講じている

サイバーセキュリティ対策に関する実態調査を実施する計画だ。調査では、現行の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」(GL)の順守状況を調べた上で、医療機関に対して必要な改善を求めるほか、将来的なGL改訂の検討材料とする。

厚生省がGLを策定したのは2005年3月。その後、改訂を重ね、現在は16年3月にまとめたGL第4.3版が運用されている。安全管理GLでは、医療機関や薬局などが行うべきセキュリティ対策を整理しており、必ず実施しなければならない事項と、義務ではないが実施が望ましい事項などを定めている。

現行GLで実施を求めているのは▼個人情報保護に関する方針を策定し公開する▼個人情報が参照可能な場所では、来訪者の記録・識別、入退を制限するなどの入退管理を定める▼個人情報が保存されている機器の設置場所および記録媒体の保存場所は施錠する▼個人情報が存在するPCなどの重要な機器に盗難防止用チェーンを設置する▼情報システムへのアクセスにおける利用者の識別と認証を行う▼ネットワーク経路でのメッセージ挿入、ウイルス混入などの改ざん防止対策をとる一など。一方、実施が望ましい事項としては、防犯カメラ、自動侵入監視装置の設置などを挙げている。

●設備、技術面からセキュリティ確認

同事業では、医療機関10施設程度から協力を得て実地調査を行う。対象は大規模病院から診療所まで規模の大小を問わない。機微情報の保管場所の施錠など設備・施設的な安全性や、機微情報にアクセスするためのログインIDやパスワードなどを、多人数で不適切に共有・共用していないかなどをチェックする。また、病院のシステムに対して模擬的に侵入を試みる「ペネトレーションテスト」も実施し、システムの堅牢性を確認する。

厚生省は、調査の結果から必要に応じて医療機関に対して改善を求めるとともに、調査結果から課題を抽出、検証し、現行GLの改訂につなげる考えだ。概算要求に必要な経費として約

7100万円を盛り込んだ。

厚生省医政局の森光敬子研究開発振興課長は本紙の取材に応じ、病院や診療所でICTの利活用が進む中、電子的に記録されている患者情報などについて「流出や漏洩の防止策が講じられているかを確認すべき」と指摘。安全管理GLの運用についても「大規模なら簡単に対応できても小規模では難しい部分があるかもしれない。もしくはその逆もあるだろう。GLの順守状況を単純に調べるだけでなく、実態がどうなっているかをきちんと把握したい」と話している。

(平成28年9月13日)

■医師の出身大学や産休・育休取得状況も

— 三師調査の書式見直し —

厚生労働省は、今年実施分から医師・歯科医師・薬剤師調査(三師調査)の届出票の書式を見直す。医師に関する届出票では、出身大学や産前・産後・育児休業の取得状況など、これまでより詳細な情報を新たに把握し、医師偏在解消に向けたデータベース構築などに役立てたい考えだ。

9月16日付で書式変更に関する医師法施行規則について一部改正を公布・施行した。従来の三師調査の医師届出票では主な従事先の医療機関名・所在地や主な診療科、広告可能な専門性に関する資格などを尋ねていた。出身大学などについては把握しておらず、医師がどの大学からどのように移動しているかや、長期の休暇に入っているかどうかなどの情報の把握が、医師偏在を議論する上での課題となっていた。

新書式では、医師が「医師免許取得の際に医学課程を修めた大学名等」の欄を設け、出身大学を把握する。さらに▽産前・産後休業▽育児休業▽介護休業—のいずれかを取得中かどうか尋ねる。また、複数の医療機関に勤務する医師の状況も把握するため、「主たる従事先」と2番目に長い時間勤務している「従たる従事先」の2種類の勤務先も尋ねる。

今年実施分調査の届出票は10月下旬に都道府県などに発送し、来年1月15日が回答の締め切りとなる。

(平成28年9月23日)

日医インターネットニュースは日本医師会ホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザー ID：会員ID番号(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード：生年月日の「西暦2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字(半角)

医師国保組合だより

薬事情報センターだより (353)

新薬紹介(その 87)

今回は8月に薬価収載された抗てんかん剤ビムパット錠50mg・100mg(一般名:ラコサミド)と高コレステロール血症治療剤プララルエント皮下注75mgシリンジ・150mgシリンジ・75mgペン・150mgペン(一般名:アリロクマブ(遺伝子組換え))について紹介いたします。

ビムパット錠50mg・100mg(一般名:ラコサミド)

ラコサミドは、米国の国立神経疾患・脳卒中研究所プログラムにより、抗けいれん薬候補化合物として合成された機能性アミノ酸の一種であり、複数のてんかん動物モデルで有効性が認められ、開発された薬剤です。従来のNaチャンネルブロッカーとは異なり、Na⁺チャンネルの緩徐な不活性化を選択的に促進することで、活性化できるNa⁺チャンネルの割合を減少させ、過興奮状態にある神経細胞膜を安定化させることによって抗けいれん作用を示すと考えられています。

ラコサミドの経口製剤は、2016年1月現在、世界70以上の国及び地域で承認されています。我が国では、厚生労働省の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において、医療上の必要性の高い薬剤と評価され、2012年に早期開発の要請が行われました。「他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する抗てんかん薬との併用療法」を効能・効果として、2016年7月に製造販売承認され、8月に第一三共株式会社とユーシービージャパン株式会社から発売されました。

承認時までには日本及び中国で実施されたプラセボ対照比較試験及びそれに続く長期継続投与試験における安全性解析対象例527例(日本人139例を含む)のうち、313例(59.4%)に副作用が認められました。主な副作用は、浮動性めまい(27.5%)、傾眠(10.4%)等でした。なお、重大な副作用として、房室ブロック、徐脈、失神、中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、薬剤性過敏症症候群、無顆粒球症が報告されています。

プララルエント皮下注75mgシリンジ・150mgシリンジ・75mgペン・150mgペン(一般名:アリロクマブ(遺伝子組換え))

アリロクマブは、遺伝子組換えヒト型免疫グロブリンG1モノクローナル抗体であり、プロタンアゼン転換酵素サブチリシン/ケキシニン9型(PCSK9)と高い親和性及び特異性で結合します。PCSK9は肝細胞表面の低比重リポ蛋白受容体(LDLR)に結合することで、その複合体が肝臓内に取り込まれた後に分解されますが、アリロクマブがPCSK9と結合することで、LDLRへのPCSK9の結合を阻害し、LDLRの分解を阻害し、LDLR数を増加させます。その結果、LDLRによる肝細胞へのLDLコレステロールの取り込みを促進し、血中LDLコレステロール濃度を低下させます。

プララルエントは、2016年6月末現在、米国及び欧州を含む30か国/地域以上で承認され、13か国で発売されています。我が国では、「家族性高コレステロール血症、高コレステロール血症、ただし、心血管イベントの発現リスクが高く、HMG-CoA還元酵素阻害剤で効果不十分な場合に限る。」を効能・効果として、2016年7月に製造販売承認され、9月にサノフィ株式会社から発売されました。我が国では、PCSK9阻害剤としては、レパーサ皮下注140mgシリンジ・ペン(一般名:エボロクマブ(遺伝子組換え))に次ぐ2成分目となります。なお、使用に際しては、HMG-CoA還元酵素阻害剤との併用が求められています。

国内で実施された第Ⅱ相及び第Ⅲ相臨床試験において、本剤75mg又は150mgが投与された193例中33例(17.1%)に副作用が認められました。主な副作用は、注射部位反応(紅斑、発赤、腫脹、疼痛、圧痛、そう痒等)が22例(11.4%)でした。(承認時)なお、過敏症、貨幣状湿疹、蕁麻疹、過敏性血管炎等のアレルギー反応が認められ、重篤な症例も報告されています。

〈参考資料〉

ビムパット錠50mg・100mg、プララルエント皮下注75mgシリンジ・150mgシリンジ・75mgペン・150mgペン各添付文書・インタビューフォーム

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井克史)

8月のベストセラー(宮崎県)

集計：2016年9月1日～9月25日

1	小説君の名は。	新 海 誠	KADOKAWA
2	コンビニ人間	村 田 沙 耶 香	文 藝 春 秋
3	九十歳。何がめでたい	佐 藤 愛 子	小 学 館
4	危険なビーナス	東 野 圭 吾	講 談 社
5	鋼のメンタル	百 田 尚 樹	新 潮 社
6	らくだ	佐 伯 泰 英	文 藝 春 秋
7	はじめての人のための3000円投資生活	横 山 光 昭	ア ス コ ム
8	怒り㊤㊦	吉 田 修 一	中央公論新社
9	やめてみた。	わた な べ ぽ ん	幻 冬 舎
10	麒麟ビール高知支店の奇跡	田 村 潤	講 談 社

明林堂書店調べ 提供：本郷店(宮崎市大字本郷北方) ☎(0985)56-0868

宮崎県医師会医療情報コーナー

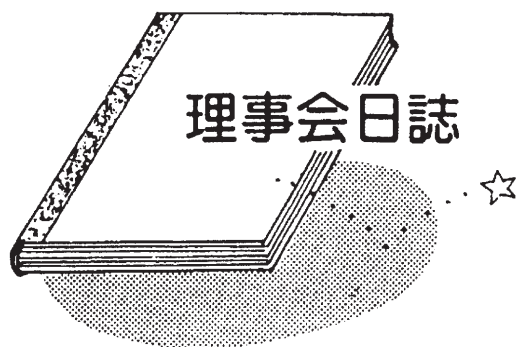
県医師会館1階の「医療情報コーナー」では、分かりやすい医療や介護の本、闘病記のほか、難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVDなどを幅広く取り揃えています。県民の皆様への貸出もしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索、ビデオ・DVDの視聴もできます。

開室時間：月～金曜日 10：00～19：00，土曜日 10：00～18：00

休 館 日：日曜・祝日，12月29日～1月3日，8月14日～15日，特別整理期間(3日間)

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地

TEL 0985-22-5118 E-mail：tosho@miyazaki.med.or.jp



平成28年 8 月 9 日(火)第14回常任理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県不妊に悩む方への特定治療支援事業協議会委員の推薦について

→特定不妊治療助成事業の適正かつ円滑な実施を目的に設置される委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き県医師会の濱田副会長と県産婦人科医会の肥後貴史副会長を推薦することが承認された。

②宮崎刑務所視察委員会委員候補者の推薦について

→本会の役員改選に伴う委員の変更で、川野理事を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①9/3(土)(日医)第8回全国医師会事務連絡会研修会の後援について

→医師会職員のスキルの向上を図り、事務局業務の効率化等を推し進めることを目的に開催される研修会で、名義後援を行うことが承認された。

②9/25(日)(宮崎市総合保健福祉センター)世界アルツハイマーデー記念講演会の名義後援について

→「若年期認知症を共に考えるー忘れても寄り添うところが支えてるー」をテーマに開催される記念講演会で、名義後援を行うことが承認された。

③H28. 1/21(土)・22(日)(宮崎市民プラザ)「第6回日本語聴覚士協会九州地区学術集会宮崎大会」後援(名義使用)のお願いについて

→「覧古考新〜古き覧, 新しきを考える」をテーマに、宮崎県で開催される学術集会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 9/20(火)(日医)平成28年度第1回都道府県医師会長協議会の開催について

役員改選後初めての会長会で、河野会長が出席することが承認され、提出議題については、河野会長に一任することとなった。また、翌週の9/27(火)に復講を兼ねた各郡市医師会長協議会を開催することが承認された。

4. 11/9(水)~11(金)(北九州)九州医師会連合会感染症対策協議会並びに第2回世界獣医師会ー世界医師会“One Health”に関する国際会議の開催について

「“One Health”概念から実践へ」をテーマに開催される世界獣医師会と世界医師会の国際会議で、九医連の感染症対策協議会も開催されることから、河野会長及び公衆衛生担当役員を中心に参加者を募ることが承認された。

5. 9/1(木)(JA-AZM)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導等の実施に係る立会について

6 医療機関を対象に開催される新規の個別指導で、金丸常任理事を立会人として派遣することが承認された。

6. 9/28(水)(日医)平成28年度都道府県医師会 JMAT担当理事連絡協議会について

平成28年熊本地震におけるJMAT活動の問題点等を整理し、次の大規模災害に備えることを目的に開催する協議会で、救急医療担当理事で調整の上、出席することが承認された。

7. 平成29年度地域医療介護総合確保基金(介護人材)に係る事業提案について

関係機関に照会の結果、「認知症に関わる多職種協働の強化・支援」、「看取り期に関わるケアマネージャーの人材確保と資質(医療知識)の向上」、「生活支援の担い手養成講座」、「介護人材キャリアアップ研修」の4つの事業を提案することが承認された。

8. 10/13(木)(日医)第38回産業保健活動推進全国会議の開催について

産業保健活動の在り方について検討することを目的に開催される全国会議で、佐々木常任理事と県内4か所の地域産業保健センターに案内することが承認された。

9. B型肝炎に係る予防接種後健康状況調査事業の実施機関の推薦について

予防接種副反応の発生要因等を研究するための事業で、対象疾病にB型肝炎ワクチンが追加されたことから、実施機関の選定を県小児科医会に依頼することが承認された。

10. その他

①10/1(土)(熊本)「九州医師会連合会第358回常任委員会」並びに「平成28年度九州医師会連合会第1回各種協議会」の開催について

→熊本県で初めて開催される各種協議会で、開催種目等が決定したことから、地域医療対策(地域医療構想、新専門医制

度含む)は池井常任理事、医療保険対策は小牧常任理事、介護保険(在宅医療・地域包括ケア含む)は金丸常任理事が中心となって提案事項の取りまとめを行うことが承認された。

②9/3(土)(県医)県医師会医学会について
→「現代社会に於ける子供を取りまく問題について考える」をテーマに、子供の肥満及び小児虐待に関する講演が行われることから、本会会員に加え、行政及び学校等にも案内することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 8/6(土)(熊本)九医連常任委員会について

3. 8/3(水)(県医)医療事故調査支援委員会常任委員会について

4. 8/8(月)(県庁)県精神科救急医療システム連絡調整委員会について

5. 8/6(土)・7(日)(熊本)九州ブロック学校保健・学校医大会関連について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 9/15(木)(東京)敬人会夕食勉強会のご案内について

「アジア健康構想」を講演題目に開催される勉強会で、協力することが承認された。

2. 9/2(金)(宮観ホテル)衆議院議員武井俊輔国政報告会のご案内について

東京から招く国会議員の講演及びご自身の活動を紹介する報告会で、協力することが承認された。

平成28年 8 月23日(火)第15回常任理事協議会**医師会関係****(議決事項)****1. 9/24(土)(滋賀)全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会・総会・運営委員会の開催について**

滋賀県医師会が担当となり開催される一連の会議で、富田副会長が出席することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について**・宮崎県高齢者虐待防止連絡会議における委員の確認・推薦について**

関係機関の連携を図り高齢者の虐待防止策を総合的に推進するために設置される連絡会議で、引き続き金丸常任理事を委員として推薦することを確認した。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①12/3(土)(南郷ハートフルセンター)日本医療マネジメント学会第10回宮崎県支部学術集会ご後援の許可について
→「地域包括ケア時代におけるクリティカルパスと地域医療連携を考える」をメインテーマに開催される学術集会で、名義後援を行うことが承認された。

②H29. 1/29(日)(宮観ホテル及び宮崎市民文化ホール)第17回動脈硬化教育フォーラム・市民公開講座後援のお願いについて
→教育フォーラムで学識及び医療の向上を図ると共に、市民講座で動脈硬化性疾患の理解を求める一連の大会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 9/16(金)(宮交シティ)「わたしと地球の環境展」について

国連が定める「持続可能な開発のための教育の10年」、「生物多様性の10年」を支援

するすばらしい催しではあるが、宗教法人の主催ということから参加を見送ることが承認された。

5. 医療法人(診療所)における「持分あり医療法人」の「持分なし医療法人」への移行と事業継承に係るアンケート調査について

日本医師会の行うアンケート調査で、医療法人立診療所(持ち分あり)の開設者・管理者である県医師会の役員(10名)が協力することが承認された。

6. 本会各種委員会について

任期満了に伴う29の委員会の再構成で、委員会規程第2条において「委員会の委員は全理事協議会において会員中より選出委員長が委嘱するものとする」とあることから、来週の全理事協議会に提案すべく確認作業を進めることとなった。

7. 業務委託について

①平成28年度自殺対策に係る人材育成研修事業の業務委託について
→医療の現場における自殺対策の強化を図ることを目的に、医療従事者を対象とした専門研修を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

②高次脳機能障がい講演会の業務委託について
→医療機関の診断技術の向上に資することを目的に、講演会等を行う委託事業で、契約を締結することが承認された。

8. 9/15(木)(JA-AZM)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の集団的個別指導等の実施に係る立会について

39医療機関を対象に行われる講演会形式の集団的個別指導で、川野理事を立会人として派遣することが承認された。

9. 10/29(土)(札幌)全国学校保健・学校医大会について

「みんなで築こう子どもたちの未来－考えよう学校医の果たす役割－」をメインテーマに開催される全国大会で、河野会長と高村常任理事が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 8/10(水)(支払基金)支 払 基 金 幹 事 会 に
ついて
3. 8/23(火)(県庁)県立看護大学の中期目標に
関する意見交換会について
4. 8/18(木)(日医)日医医療情報システム協議
会運営委員会について
5. 第17回宮崎県医師会医家芸術展について
6. 8/18(木)(県医)生活習慣病検診各部長連
絡会議について
7. 8/12(金)(県医)認知症サポート医フォロー
アップ研修会(TV会議)について
8. 8/16(火)(県医)県認知症高齢者グループ
ホーム連絡協議会理事会について
9. 8/18(木)(宮崎市)社会保険医療担当者(医
科)の個別指導について
10. 8/20(土)(県医)産業医研修会(前期)について
11. 8/20(土)(県医)学校医部会総会・医学会に
ついて
12. 8/21(日)(県医)地域包括診療加算・地域包
括診療料に係るかかりつけ医研修会(日医
TV会議)について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 9/17(土)(シーガイア)「上杉光弘氏の旭日
大綬章受章祝賀会」のご案内について

元宮崎県選出国會議員の上杉光弘先生の叙勲受章をお祝いするもので、河野県医師会長が発起人となっていること等を踏まえ祝賀会に協力することが承認された。

平成28年 8 月30日(火)第 5 回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 後援・共催名義等使用許可について

- ・10/15(土)(県医)シンポジウム「どんな障がいがあってもこの街で共に生きたい」名義後援のお願い

地域包括ケアシステムにおける在宅障がい児(者)ケアの方向性を見出すことを目的に開催されるシンポジウムで、名義後援を行うことが承認された。

2. 本会各種委員会について

本会に設置される委員会の内、任期が異なる医療事故調査支援委員会を除く29の委員会(治験審査委員会含む)について、定款第57条及び県医師会委員会規程に基づき、委員構成及び委員長・副委員長が承認された。

3. 9/27(火)(県医)第 1 回各郡市医師会長協議会の開催について

都道府県医師会長協議会(9/20)の報告を中心に開催する協議会で、当日のスケジュール等の確認が行われ、郡市医師会に提出議題等を照会することが承認された。

4. 10/1(土)「九州医師会連合会平成28年度第 1 回各種協議会」の提案事項に対する回答について

各県医師会から出された提案事項に対する回答依頼で、地域医療対策(地域医療構想、新専門医制度含む)は池井常任理事、医療保険対策は小牧常任理事、介護保険(在宅医療・地域包括ケア含む)は金丸常任理事が中心となって回答の取りまとめを行うことが承認された。

5. 会費減免申請について

在籍20年以上で満80歳に達する高齢によ

る会費減免(県医)1件が承認された。

6. 11/13(日)(西都市)平成28年度県中学校駅伝競走大会開催に伴う医師及び看護師の派遣について

西都市公認マラソンコースで開催される大会で、開催地の西都市西児湯医師会に人選をお願いすることが承認された。

7. 10/30(日)(西都市)平成28年度県高等学校総合体育大会男子第69回・女子第31回県高等学校駅伝競走大会開催に伴う医師および看護師の派遣について

西都市公認マラソンコースで開催される大会で、開催地の西都市西児湯医師会に人選をお願いすることが承認された。

8. 9・10月の行事予定について

9月の追加行事について確認が行れた。

9. その他

- ・10/15(土)「宮崎の地域医療を考えるつどい」について

民医連(宮崎県民主医療機関連合会)の主催で開催されるシンポジウムで、池井常任理事をシンポジストとして派遣することが承認された。

(報告事項)

1. 8/27(土)(熊本)九医連常任委員会について
2. 8/26(金)(日医)日医医療秘書認定試験委員会について
3. 8/26(金)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
4. 8/25(木)(宮観ホテル)損保ジャパン日本興亜との懇談会について
5. 8/27(土)(熊本)九医連定例委員総会について
6. 8/25(木)(県医)広報委員会について

7. 8/24(水)(県医)県医療勤務環境改善支援セミナーについて

8. 8/28(日)(福岡)日本プライマリ・ケア連合学会九州支部代表世話人会について

9. 8/30(火)(県庁)日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議について

10. 8/27(土)(県医)在宅医療協議会役員会・総会・研修会について

11. 7/27(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について

12. 7/28(木)(県医)労災部会自賠委員会について

13. 7/28(木)(県医)損害保険医療協議会について

14. 7/30(土)～31(日)(静岡)全国有床診療所連絡協議会総会について

15. 7/26(火)(県医)県口コモティブシンドローム対策協議会について

16. 8/9(火)(県庁)みやざき東京オリンピック・パラリンピックおもてなしプロジェクト連携会議について

17. 8/20(土)～21(日)(徳島)中四九地区医師会看護学校協議会について

18. 8/25(木)(宮崎市)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会

(報告事項)

1. 8/30(火)(ホテルマリックス)医協理事会について

医師連盟関係

(報告事項)

1. 8/27(土)(熊本)九州医連連絡会執行委員会について

(9月)

1	社会保険医療担当者の新規個別指導 (金丸常任理事) 県産婦人科医会社保委員会(濱田副会長他)	19	医療メディエーター養成研修会基礎編 (富田理事長他) 医協打合せ会(立元副理事長)		
3	県医師会医学会(会長他)	20	(日医)都道府県医師会会長協議会(会長) 医協理事会(富田理事長他) 第18回常任理事協議会(富田副会長他)		
5	在宅医療研修会企画小委員会 勤務医部会理事会(富田副会長他)	21	(日医)都道府県医師会JMAT担当理事連絡協 議会(米澤理事) (日医TV会議)都道府県医師会JMAT担当理 事連絡協議会(小牧常任理事)		
6	治験審査委員会(富田副会長他) 第16回常任理事協議会(会長他)	23	女性医師保育支援講座(荒木常任理事他) 宮大医学部医の倫理委員会(糸数理事) 広報委員会(荒木常任理事他)		
7	三師会懇談会(会長他)	24	(日医)都道府県災害医療コーディネート研 修(小牧常任理事) 県プライマリ・ケア研究会世話人会 (会長他) 医療事故調査制度(担当者養成)研修会 (濱田副会長) 県プライマリ・ケア研究会総会・研修会 (会長他) 園医部会総会・研修会(TV会議) (高村常任理事他) (滋賀)全医秘協常任委員会(富田副会長) 県有床診療所協議会総会・講演会(会長他) (滋賀)全医秘協定例総会・運営委員会 (富田副会長) 公明党山口那津男党代表との懇談会 (河野委員長)		
8	みやざき子育てサポートセンターサポート 会員養成講座(荒木常任理事他) 県産婦人科医会常任理事会(濱田副会長他)		25	(日医)都道府県災害医療コーディネート研 修(小牧常任理事)	
9	土曜会(報道機関支局長の会)との意見交換 会(会長他)			27	県准看護師試験問題調整委員会 (立元常任理事) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (濱田副会長) 第6回全理事協議会(会長他) 医協理事・運営委員合同協議会(会長他) 各都市医師会会長協議会(会長他)
10	産業医研修会(前期)(佐々木常任理事) (大分)全国国保組合協会九州支部幹事会・ 総会(秦理事長)				28
11	職員採用試験(二次)	29			
12	県糖尿病対策推進会議幹事会(会長他)				
13	第17回常任理事協議会(会長他)				
14	支払基金幹事会(会長) 県内科医会医療保険委員会(小牧常任理事)				
15	(東京)全国国保組合協会理事長・役員研修 会(秦理事長) 社会保険医療担当者の集団的個別指導 (川野理事) 広報委員会(荒木常任理事他)				
16	医師国保組合理事会(秦理事長他) 県内科医会理事会(小牧常任理事)				
17	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 (石川常任理事) 県産婦人科医会秋期総会(濱田副会長他)				
18	医療メディエーター養成研修会基礎編 (富田理事長他) 宮崎内視鏡外科アニマルラボセミナー (富田副会長)				

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成28年9月14日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報がよせられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 3人

1) 男性医師求職登録数 3人 (人)

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	3	1	2
外 科	0	0	0

2) 女性医師求職登録数 0人

2. 斡旋成立件数 54人 (人)

	男性医師	女性医師	合 計
平 成 2 8 年 度	3	0	3
平成16年度から累計	40	14	54

3. 求人登録 95件 331人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	118	89	29
外 科	28	24	4
整 形 外 科	25	22	3
精 神 科	19	17	2
循 環 器 科	7	6	1
脳 神 経 外 科	12	9	3
消 化 器 内 科	11	9	2
麻 酔 科	10	8	2
眼 科	6	5	1
放 射 線 科	10	9	1
小 児 科	1	0	1
呼 吸 器 内 科	11	10	1
リハビリテーション科	5	4	1
総合診療科・内科	7	6	1
神 経 内 科	7	6	1
救 命 救 急 科	7	7	0
健 診	3	1	2
産 婦 人 科	1	1	0
泌 尿 器 科	1	0	1
検 診	4	2	2
皮 膚 科	3	2	1
人 工 透 析	4	4	0
在 宅 担 当 医	1	1	0
そ の 他	30	26	4
合 計	331	268	63

求 人 登 録 者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外, 整, 放, 麻, 内	10	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピア宮崎病院	宮 崎 市	乳外, 放, 内, 麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精, 内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼, 神内, 眼, 総診, 呼外, 臨病, 乳外, 整外, 麻酔	11	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	2	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内, 内分泌内, 呼内, リウマチ, 神経内, 健診	6	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内, 放, 在宅医療	3	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内, 神内, 整, 消内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	内(緩和ケア), 消内, 呼内, 総診	8	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	総内, 内視鏡	6	常勤・非常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内, 外, 救急, 呼外, 婦人, 整, 麻	7	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	内, 外, 放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮 崎 市	内, 整, リハビリ	7	常勤・非常勤
230128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	内, 精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	1	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国 富 町	内, 外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外, 内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	総内, 呼内, 消化器内, 健診	8	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内, 神内, 外, 整外, 脳外, リハ, 麻酔, 救急, 緩和ケア	10	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮 崎 市	美外, 形成外, 外, 麻酔	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科病院	宮 崎 市	内	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230165	野崎病院健診センター	宮 崎 市	健診	1	非常勤
230171	医)いなほ会 日高病院	宮 崎 市	内	1	非常勤
230174	医)常聖会 巴外科内科	宮 崎 市	内	1	非常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮 崎 市	内, 小, 整	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内, 消内, 消外, 放(いずれか)	1	常勤・非常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮 崎 市	内, 糖内, 呼内, 血内	4	常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都 城 市	泌	1	非常勤
160010	徳医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内, 消内, 整, 神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内, 救急, 放射, 脳外, 外, 眼, 透内, 皮膚	8	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内, 外, 整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	内, 呼内, 総診	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内, 呼内	6	常勤
210114	藤元病院	都 城 市	精, 内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	外, 内, 整	7	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230137	医) 宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医) 魁成会 宮永病院	都 城 市	内, リハビリ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	内	1	非常勤
230157	医) 一誠会 都城新生病院	都 城 市	精, 内	4	常勤・非常勤
230162	藤元総合病院	都 城 市	内, 透, 循内, 救急, 放射, 病理, 呼内, 精	16	常勤
230172	医) 静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	4	常勤・非常勤
230176	一社) 藤元メディカルシステムグリーンホーム	三 股 町	内	1	常勤
230179	医) 与州会 柳田クリニック	都 城 市	外	1	非常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
160012	医) 伸和会 共立病院	延 岡 市	外, 整, 放, 内	6	常勤
160021	医) 健愁会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医) 健寿会 黒木病院	延 岡 市	外, 内, 緩和ケア	6	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延 岡 市	産婦, 内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内, 消外, 内	5	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内, 小	2	非常勤
230151	介護老人保健施設エクセルライフ	延 岡 市	内	1	常勤
230156	医) 中心会 野村病院	延 岡 市	内, 外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延 岡 市	内	1	非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日 向 市	外, 内, 整, 神内	6	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内, 整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内	1	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内, 整	2	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内, 放, 外	3	常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整, 内, 総診, 麻, 眼, 健診, 循, 脳	10	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設なでしこ園	高 鍋 町	内	1	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内, 外	2	常勤
150002	医) 慶明会 おび中央病院	日 南 市	内, 外, 整	4	常勤・非常勤
150003	医) 同仁会 谷口病院	日 南 市	精, 内	2	常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	2	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串 間 市	精, 内(いずれか)	1	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内, 外, 整, リハビリ, 在宅医療	5	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内, 外	2	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230149	介護老人保健施設おびの里	日 南 市	内	2	常勤・非常勤
230166	医) 秀英会 英病院	串 間 市	内	1	常勤
230168	医) 月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230182	串間市市木診療所	串 間 市	総診, 内(いずれか)	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内, 皮膚	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急, 総診, 放	5	常勤
180076	医) 友愛会 園田病院	小 林 市	外, 循内, 整, 脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医) 浩然会 内村病院	小 林 市	精, 内	3	常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整, 内	4	常勤・非常勤
230155	医) 三和会 池田病院	小 林 市	脳外, 内, 放射, 外, リハビリ	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小 林 市	内	2	常勤
230173	医) 高千穂会 大森内科	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内, 外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内, 透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内, 整	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成28年9月14日現在

1. 譲渡物件	①宮崎市阿波岐ヶ原町前田 2633番，2634番 土地のみ：2022.17㎡(593.57坪)	所有者：児湯医師会員 (医)松雲会 林クリニック
	②西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡(691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡(424.38坪) 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり(20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	①小林市南西方49番地1 土地：1,991.34㎡(603.43坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡(336.29坪) ※駐車場あり(30台)	所有者：西諸医師会員 (医)社団 産婦人科 生駒クリニック

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先 ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179
E-mail: isikyou@miyazaki.med.or.jp

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
b, c, d	a	c	c	a	a	a	d	a, c, d	e

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E - Mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、

裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX: 0985-27-6550

き
り
と
り
せ
ん

お 名 前 :

ご 所 属 :

T E L :

F A X :

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成28年 9 月 27 日

10			月		
1	土	15:00 県警察医会総会・学術講演会 16:00 九医連常任委員会 16:00 九医連第1回各種協議会 18:10 各種協議会報告会	16	日	9:00 県小児科医会役員会 県総合防災訓練 14:00 県小児科医会秋季講演会 14:30 東京都医師会新会館内覧会及び落成記念祝賀会
2	日				
3	月	14:00 みやざき愛の献血運動推進県民大会 15:00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会 19:00 宮大医学部5年生未来の医療を語る全員交流会 19:00 在宅医療研修会企画小委員会	17	月	14:00 県がん診療連携協議会 19:00 広報委員会
4	火	18:00 治験審査委員会 19:00 第19回常任理事協議会	18	火	17:00 地域医療における働きやすい環境を考える会学生向けセミナー 18:20 医協打合せ会 19:00 第21回常任理事協議会
5	水	9:00 (日医)日医社会保険指導者講習会 13:30 女性医師保育支援講座 14:00 県訪問看護推進協議会	19	水	
6	木	9:00 (日医)日医社会保険指導者講習会 16:30 小児救急医療電話相談事業運営協議会	20	木	19:00 自殺対策うつ病研修会(TV会議) 19:00 医療現場のワークライフバランスセミナー 19:00 医師国保組合理事会
7	金	19:00 健康スポーツ医学委員会	21	金	19:00 県プライマリ・ケア研究会 学術広報委員会
8	土	11:00 アイバンクサポーター講習会 14:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 15:00 養護教諭のための性教育研修会 19:00 椎葉茂樹厚生労働省審議官講演会	22	土	14:30 保育支援事業全体顔合わせ会 16:30 九州医師協同組合連合会 通常総会
9	日		23	日	8:00 九州医師協同組合連合会 通常総会
10	月	(体育の日) 10:30 e レジフェア	24	月	14:00 県医療審議会 19:00 広報委員会 19:00 県内科医会学術委員会
11	火	15:00 県社会福祉審議会児童福祉専門分科会 19:00 第20回常任理事協議会	25	火	18:00 医協理事会 18:30 第7回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会 19:00 宮崎大学医学部教授等と 県医師会役員等との懇談会
12	水	13:30 県高齢者虐待防止連絡会議 14:00 宮大医学部医の倫理委員会 16:00 支払基金幹事会	26	水	15:00 労災診療指導委員会 19:00 県ロコモティブシンドローム 対策協議会
13	木	13:00 (日医)産業保健活動推進全国会議 13:00 社会保険医療担当者の個別指導 15:00 (日医)日医医療情報システム協議会 運営委員会 19:30 県産婦人科医会常任理事会	27	木	15:00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会
14	金	12:40 全国医師国保組合連合会代表者会 ・全体協議会 19:00 医療機関経営セミナー	28	金	18:00 九州地方社会保険医療協議会 宮崎部会 18:30 治験セミナー(TV会議)
15	土	14:00 在宅医療研修会企画委員会 14:30 宮崎の地域医療を考えるつどい(仮)	29	土	9:00 ICLS指導者養成ワークショップ 10:00 全国学校保健・学校医大会 14:30 産業医研修会(実地)
			30	日	8:30 ACLS研修会
			31	月	16:00 県認知症高齢者グループホーム 連絡協議会理事会 18:30 県産業保健連絡協議会等 19:00 県内科医会会誌編集委員会

※都合に寄り、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成28年 9 月27日

11			月				
1	火	13：00 (日医)日医設立記念医学大会 18：00 治験審査委員会 19：00 第22回常任理事協議会	16	水	14：00 首都直下地震を想定した衛星 利用実証実験(防災訓練)(TV会議)	国 保 審 査	
2	水		17	木	9：20 九州・沖縄地区医療安全に関する ワークショップ 18：30 医協会計監査		
3	木	(文化の日) 県医親善ゴルフ大会	18	金	16：00 九医連常任委員会 17：00 九医連臨時委員総会		
4	金	19：00 認知症サポート医フォローアップ 研修会(TV会議) 18：30 宮崎銀行との懇親会	19	土	10：00 九医連委員・九州各県役員 合同協議会 13：00 九州医師会総会・医学会		
5	土	県整形外科医会研修会 14：00 人体シミュレータを用いた在宅 医療研修会 16：30 全国医師協同組合連合会通常総会	20	日	九医学分科会・記念行事		
6	日	8：00 全国医師協同組合連合会通常総会	21	月			
7	月	19：00 健康教育委員会	22	火			
8	火	18：30 第8回全理事協議会 19：20 県福祉保健部・病院局と県医師会 との意見交換会	23	水	(勤労感謝の日)		
9	水	15：00 九医連感染症対策協議会 16：00 九医連常任委員会 18：00 世界医師会 one health 国際会議	24	木	13：30 宮大経営協議会・学長選考会議 19：00 広報委員会		
10	木	9：00 世界医師会 one health 国際会議 19：30 県産婦人科医会常任理事会	25	金			
11	金	8：00 世界医師会 one health 国際会議 19：00 県外科医会秋期講演会	26	土	8：20 県産婦人科医会ALSO研修会 10：00 全国医師会勤務医部会連絡 協議会 13：30 県訪問看護ステーション連絡 協議会総会・研修会 15：00 九州学校検診協議会専門委員会 17：00 九州各県医師会学校保健担当 理事者会	社 保 審 査	
12	土	12：45 日本産婦人科医会学術集会 14：30 産業医研修会(TV会議) 16：00 病院部会・医療法人部会合同 研修会	27	日	8：00 県産婦人科医会ALSO研修会		
13	日	8：00 日本産婦人科医会学術集会	28	月	18：00 県経済団体協議会代表者及び専務 ・常務・事務局長合同懇談会(仮) 19：00 医療従事者向け認知症対応力 向上研修会(TV会議)		
14	月	19：00 医療安全対策セミナー (TV会議) 19：00 広報委員会	29	火	18：00 九州地方社会保険医療協議会 宮崎部会 18：30 第9回全理事協議会 19：20 各郡市医師会長協議会		
15	火	15：00 (日医)都道府県医師会長協議会 19：00 第23回常任理事協議会	30	水	15：00 労災診療指導委員会		

※都合に寄り、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日 本 医 師 会 生 涯 教 育 講 座 認 定 学 会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第24回宮崎県警察 医会総会・特別 講演会 10月1日(土) 15:30～17:00 県医師会館	長崎県における死因究明システムの紹介 長崎大学医歯薬学総合研究科医療科学専攻 社会医療科学講座法医学分野教授 池松 和哉	6 (1.0) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎県警察医会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 10月3日(月) 13:30～15:30 延岡市職業訓練 支援センター	化学物質管理入門ーリスクアセスメントとそれに関連 する留意点 産業保健相談員 西部労働衛生コンサルタント事務所代表 矢崎 武 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第109回宮崎市郡 医師会病院心臓病 研究会 10月4日(火) 18:50～20:30 宮崎観光ホテル	PCIで血行再建された冠動脈疾患患者の二次予防 ー糖尿病と脂質異常症についてー 宮崎市郡医師会病院心臓病センター 循環器内科医長 松浦 広英 震災と循環器疾患について 久留米大学心臓血管内科主任教授 福本 義弘	75 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 ◇共催 武田薬品工業(株) 興和創薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 10月5日(水) 19:00～21:00 県医師会館	長時間労働者の面接指導 産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授 江藤 敏治 生涯研修の实地研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県皮膚科医会 学術講演会 10月6日(木) 19:15～20:30 宮崎観光ホテル	てこずる皮膚疾患へのアプローチ法 －原因追究から薬物治療まで－ 福岡山王病院皮膚科部長 久保田 由美子	9 (0.5) 26 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 ※田辺三菱製薬(株) ☎0985-32-9205
第44回宮崎大腸肛 門疾患研究会 10月7日(金) 19:00～20:30 MRT-micc	炎症性腸疾患の外科治療－最近の傾向－ 兵庫医科大学炎症性腸疾患外科主任教授 池内 浩基	53 (0.5) 55 (0.5)	◇主催 宮崎大腸肛門疾患研究会 ◇共催 ※田辺三菱製薬(株) ☎0985-32-9205
延岡医学会学術講 演会 10月7日(金) 19:15～20:30 ホテルメリージュ 延岡	延岡市のC型肝炎を撲滅する(仮) 共立病院副院長 赤須 郁太郎	12 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 ギリアド・サイエンス(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医療政策研究会講演会 10月8日(土) 19:00～20:00 宮崎観光ホテル 参加費：1,000円	国の医療政策の動向について 厚生労働省審議官 椎葉 茂樹	12 (1.0)	◇主催 宮崎県医療政策研究会 (連絡先) 県議会議員清山知憲事務所 ☎0985-69-4010
第17回児湯内科医会学術講演会 10月11日(火) 19:00～20:15 ホテル四季亭	TAVI実施施設への歩み 宮崎市郡医師会病院循環器内科長 栗山 根廣	1 (0.5) 42 (0.5)	◇主催 児湯内科医会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 児湯医師会 ☎0983-22-1641
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 10月12日(水) 19:00～20:20 ホテルベルフォー ト日向	心房細動の病態と治療 長崎大学病院循環器内科講師 深江 学芸	43 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日本ペーリンガーインゲルハイム㈱
	地域医療連携で期待されるもの ー顔の見える連携から心のつながりへー 大分岡病院長 立川 洋一	12 (0.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 10月13日(木) 14:00～16:00 県医師会館	メンタルヘルスQ & A 3次予防編 ー心の病を繰り返さないためにー 産業保健相談員・都城新生病院医師 前原 正法 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (0.5) 6 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) が 単 位	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第107回江南医療連 携の会症例検討会 10月13日(木) 19:00～20:45 宮崎江南病院	当院整形外科での上肢手術について 宮崎江南病院整形外科部長 益山 松三	0 (0.5)	◇主催 江南医療連携の会 (連絡先) 宮崎江南病院地域医療連携室 ☎0985-52-4004
	ここ最近の胃・食道異物症例 宮崎江南病院放射線科医長 伊藤 泰教	48 (0.5)	
	2重切断に対して再接着術を施行した1例 宮崎江南病院形成外科医員 土居 華子	57 (0.5)	
都城市北諸県郡医 師会学術講演会 10月13日(木) 19:00～20:30 ホテル中山荘	食習慣・睡眠習慣で攻める糖尿病外来診療トルリシ ティの可能性を考える 愛媛大学医学系研究科免疫・予防医学講座准教授 古川 慎哉	76 (1.0)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 大日本住友製薬(株) 日本イーライリリー(株)
		82 (0.5)	
西諸・西諸内科医 会合同学術講演会 10月13日(木) 19:00～20:30 ガーデンベルズ 小林	南九州中部における急性循環器治療圏の確立に ついて(仮) 人吉医療センター循環器内科部長 中村 伸一	12 (1.0)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 第一三共(株) (株)フィデスワン
		73 (0.5)	
木曜会学術講演会 10月14日(金) 19:00～20:30 都城ロイヤル ホテル 参加費：500 円	気管支喘息－COPDオーバーラップ症候群(ACOS)に ついて 大阪市立大学医学研究科呼吸器内科学教授 平田 一人	11 (0.5)	◇主催 木曜会 ◇共催 杏林製薬(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711
		45 (0.5)	
		46 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
延岡医学会学術講演会 10月14日(金) 19:00～20:30 ホテルメリージュ 延岡	COPDの最新の話題 －新規薬物治療と広域周波オシレーション法－ 東北大学医学系研究科産業医学分野教授 黒澤 一	19 (0.5) 45 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 日本ペーリンガーインゲルハイム㈱ (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第55回宮崎県スポーツ学会 10月15日(土) 15:00～18:30 宮崎大学医学部 臨床講義室 参加費：1,000円	トップアスリートの心理サポート 国立スポーツ科学センター スポーツ科学部研究員 立谷 泰久	6 (1.0)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 久光製薬㈱ ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科教室 ☎0985-85-0986
	投球障害に対するアプローチ －プロ野球選手の治療経験から－ 船橋整形外科病院肩関節・肘関節センター 特任理学診療部長 高村 隆	61 (1.0)	
	下肢スポーツ傷害の診断と治療 広島大学医歯薬保健学研究院統合健康科学部門 医学分野整形外科教授 安達 伸生	62 (1.0)	
宮崎市郡外科医会10月例会 10月17日(月) 19:15～20:15 宮崎観光ホテル	膵胆道疾患に対する内視鏡診療の進歩 宮崎大学医学部消化器内科学講座教授 河上 洋	9 (1.0)	◇主催 宮崎市郡外科医会 ◇共催 アストラゼネカ㈱ 第一三共㈱ (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 10月18日(火) 19:00～20:40 ホテルベルフオー ト日向	透析患者の血糖管理について 千代田病院腎臓内科 上園 繁弘	76 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日向市東臼杵郡内科医会 日向市東臼杵郡薬剤師会 大日本住友製薬㈱
	メトホルミンとインクレチンをベースにした糖尿病治療 光川内科医院長 光川 知宏	76 (1.0)	
宮崎市郡医師会10月例会並びにしのめ医学会特別講演会 10月19日(水) 19:00～19:45 宮崎観光ホテル	胆膵内視鏡的診断・治療 ー内科医はここまでののか?ー 宮崎大学医学部消化器内科学講座教授 河上 洋	0 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
佐土原地区医師会学術講演会 10月19日(水) 19:00～20:30 シーガイアコンベンションセンター	心房細動の治療 ーアブレーションと抗凝固療法を中心にー 日本医科大学循環器内科講師 林 明聡	9 (1.0)	◇主催 佐土原地区医師会 ◇共催 ※第一三共㈱ ☎0985-23-5710
平成28年度宮崎県医師会自殺対策うつ病研修会(TV会議) 10月20日(木) 19:00～21:00 県医師会館	プライマリケアの臨床現場でも実施可能な認知行動療法 宮崎大学医学部テニユアトラック講師 吉永 尚紀	70 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	地域ぐるみで取り組む自殺対策 岩手医科大学精神科教授 大塚 耕太郎	12 (0.5)	
		68 (0.5) 69 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
医療現場のワーク ライフバランスセ ミナー 10月20日(木) 19:00～20:30 KITEN	医療現場におけるワークライフバランスの推進体制 学習院大学経済学部教授 脇坂 明	1 (0.5) 7 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 地域医療現場における働 きやすい環境を考える会 宮崎県医療勤務環境改善支援センター
第50回宮崎県核医 学研究会 10月21日(金) 18:30～20:20 宮崎観光ホテル 参加費：500円	骨SPECT定量画像評価についてー技術紹介ー がん研究会有明病院 画像診断センター核医学チーム 宮司 典明	9 (0.5)	◇主催 宮崎県核医学研究会 ◇共催 ※日本メジフィジックス㈱ ☎099-805-2005
	核医学の将来を見据えて 北海道大学医学研究科病態情報学講座 核医学分野教授 玉木 長良	0 (0.5) 1 (0.5)	
延岡医学会学術講 演会 10月21日(金) 19:00～20:15 ホテルメリージュ 延岡	2型糖尿病治療の新潮流 ーTreat to fail approachからの脱却ー 潤和会記念病院糖尿病・代謝内科部長 水田 雅也	76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 延岡内科医会 大日本住友製薬㈱ ◇後援 延岡市西臼杵郡薬剤師会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第15回宮崎難治性 疼痛研究会 10月21日(金) 19:15～20:30 宮崎観光ホテル	脊椎・脊髄疾患における慢性疼痛 名古屋大学医学系研究科 機能構築医学専攻運動形態外科学講座講師 今釜 史郎	60 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 宮崎難治性疼痛研究会 ◇共催 ※日本臓器製薬㈱ ☎096-386-0441 ◇後援 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
疼痛緩和のための 医療用麻薬適正使 用推進講習会 10月22日(土) 15:00～18:00 県医師会館	疼痛緩和医療の基本について(仮) 佐賀県医療センター好生館緩和ケア科部長 小杉 寿文	4 (0.5) 15 (0.5)	◇主催 厚生労働省 ◇共催 宮崎県 ※麻薬・覚せい剤乱用防止センター ☎03-3581-7436 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県薬剤師会
	疼痛緩和医療における薬剤師の役割について(仮) 県立宮崎病院薬剤部副薬剤部長 垣内 健二	10 (0.5)	
	パネルディスカッション 潤和会記念病院ペインクリニック科部長 田中 信彦 他	0 (0.5)	
第170回宮崎県眼 科医会講習会 10月22日(土) 16:20～19:10 KITEN	緑内障点眼治療のアップデート2016 佐賀大学医学部附属病院講師 石川 慎一郎	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 日本アルコン(株)
	一目でわかるぶどう膜炎治療のポイント 防衛医科大学眼科教授 竹内 大	36 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 10月27日(木) 13:30～15:30 都城圏域地場産業 振興センター	化学物質管理入門 ーリスクアセスメントとそれに関する留意点ー 産業保健相談員 西部労働衛生コンサルタント事務所代表 矢崎 武 生涯研修の専門研修会 : 2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
西臼杵郡医師会薬 剤師会学術講演会 10月27日(木) 19:00～20:00 ホテル高千穂	GERD治療最前線－Optimal Acid Control適切な胃酸 分泌の抑制について－ 服部胃腸科院長 櫻井 宏一	51 (0.5) 52 (0.5)	◇主催 ※西臼杵郡医師会 ☎0982-73-2010 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 第一三共(株) アストラゼネカ(株)
肺炎球菌ワクチン 感染症学術講演会 10月28日(金) 18:50～20:30 KITEN	肺炎球菌ワクチンを通して学んだこと 宮崎大学医学部内科学講座 免疫感染病態学分野講師 長友 安弘	11 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※MSD(株) ☎0985-28-9496
	肺炎診療における最近の話題－細菌叢解析による新た な知見と成人肺炎球菌の血清型変化について－ 長崎大学医歯薬学総合研究科 呼吸器内科学分野教授 迎 寛	12 (0.5) 42 (0.5)	
ストップ！N0卒中 プロジェクトエリ ア会議 10月28日(金) 19:00～20:30 MRT-micc	抗凝固治療中の高血圧性脳内出血超急性期治療 －経口抗凝固薬Target to Treat vs Fire and Forget を鑑みる－ 近畿大学医学部附属病院脳卒中センター教授 大槻 俊輔	73 (0.5) 78 (0.5)	◇主催 日本脳卒中協会 ◇共催 宮崎県内科医会 ※ファイザー(株) ☎092-281-7031
南那珂医師会生涯 教育医学会 10月28日(金) 19:00～20:15 南那珂医師会館	病態から考える静脈血栓塞栓症の治療 岡山医療センター循環器内科 下川原 裕人	78 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 第一三共(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) が人機	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第12回 治験セミナー 10月28日(金) 18:30～21:00 県医師会館	臨床研究における倫理とリスクマネジメント 北里研究所病院薬剤部臨床研究適正運用管理室 氏原 淳	2 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会治験促進センター機構 ☎0985-31-5871
	臨床研究と診療の違いを考えるーなぜ患者は誤解を してしまうのか？ 北里大学薬学部薬学教育研究センター 医療心理学部門 有田 悦子	3 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 10月29日(土) 14:30～16:30 県医師会館	労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度におけ る面接指導についてー組織内での従業員メンタルヘル スサポートのためにー ライフ・サポートチーム代表取締役 黒木 陽子 基礎研修・生涯研修の現地研修会 : 2単位	6 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
		11 (0.5)	
		12 (0.5)	
		70 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 11月2日(水) 19:00～21:00 県医師会館	企業における受動喫煙防止対策 産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会 : 2単位	9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		11 (0.5)	
		12 (0.5)	
		82 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん影	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第18回 宮崎「感染と免疫」研究会 11月2日(水) 19:15～20:45 宮崎観光ホテル 参加費：500円	症例検討会：クラリスロマイシンで加療中の原発性線毛機能不全症の一例 宮崎大学医学部免疫感染病態学分野助教 宮内 俊一 他	46 (0.5)	◇主催 ※宮崎「感染と免疫」研究会 ☎0985-85-7284 ◇共催 大正富山医薬品(株)
	分子生物学的手法を用いた呼吸器感染症の原因菌探索 産業医科大学医学部呼吸器内科学教授 矢寺 和博	8 (1.0)	
宮崎市郡内科医会学術講演会 11月4日(金) 19:30～20:30 宮崎市郡医師会館	大規模地震災害時の医療についてー超急性期から慢性期までのシームレスな医療を展開するためにー 宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター教授 落合 秀信	14 (1.0)	◇主催 宮崎市郡内科医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
江南医療連携の会特別講演会 11月5日(土) 15:30～17:30 宮崎江南病院	宮崎県内における江南病院形成外科の役割 宮崎江南病院形成外科医員 土居 華子	12 (0.5)	◇主催 江南医療連携の会 (連絡先) 宮崎江南病院地域医療連携室 ☎0985-52-4004
	手の疾患における形成外科の役割ー手は口ほどにものを言うー 長崎大学医歯薬学総合研究科展開医療科学講座 形成再建外科学教授 田中 克己	57 (1.0)	
“皮膚の日”講演会 11月6日(日) 14:00～15:30 宮日会館	いろいろなダニによるいろいろな病気 青木皮膚科 出盛 允啓	9 (1.0) 11 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 日本臨床皮膚科医会 ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 青木皮膚科 ☎0985-23-2011

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) が、機	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
西臼杵郡地区学術 講演会 11月8日(火) 19:00～20:35 ホテル高千穂	透析導入を遅らせるための腎性貧血治療(仮) 県立延岡病院腎臓内科医長 戸井田 達典	82 (0.5)	◇主催 ※西臼杵郡医師会 ☎0982-73-2010 ◇共催 協和発酵キリン(株)
	透析導入を遅らせるための糖尿病治療(仮) 仁医会病院長 阿部 克成	73 (0.5)	
		76 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 11月9日(水) 19:00～21:00 県医師会館	この一年間にみられた産業保健の動向 ー厚労省・報道発表資料と通達からー 産業保健相談員 西部労働衛生コンサルタント事務所代表 矢崎 武	3 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		7 (0.5)	
		8 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 11月10日(木) 19:00～21:00 延岡市医師会病院	職場における糖尿病対策 産業保健相談員・都城市郡医師会病院副院長 中津留 邦展 生涯研修の更新研修会：2単位	9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		11 (0.5)	
		76 (0.5)	
第8回宮崎乾癬研 究会 11月10日(木) 19:30～21:00 宮崎観光ホテル	TNF阻害剤の投与が必要な患者と増量の意義 帝京大学医学部皮膚科学講座准教授 多田 弥生	26 (0.5)	◇主催 宮崎乾癬研究会 ◇共催 ※田辺三菱製薬(株) ☎0985-32-9205
		61 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) が人機診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第23回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー 11月12日(水) 15:25～19:00 シーガイアコンベンションセンター 参加費：1,000円	骨粗鬆症と骨代謝 慶應義塾大学医学部整形外科特任准教授 宮本 健史	77 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー ◇共催 ※中外製薬(株) ☎0985-20-8118
	膝前十字靱帯損傷に対する治療戦略 神戸大学医学研究科外科系講座整形外科学教授 黒田 良祐	61 (0.5) 62 (0.5)	
	日常よく使う手外科手術の現況とトピックス 笠岡第一病院長 橋詰 博行	56 (0.5) 57 (0.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 11月16日(水) 19:00～21:00 県医師会館	事業場に歓迎される職場巡視方法とは 産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第3回宮崎臨床整形外科セミナー (第52回ひむか運動器セミナー) 11月18日(金) 19:00～20:30 県医師会館 参加費：500円	ロコモティブシンドロームと骨粗鬆症 田辺整形外科医院長 田辺 秀樹	77 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 宮崎県臨床整形外科医会 ◇共催 ひむか運動器セミナー ※旭化成ファーマ(株) ☎0985-28-2736

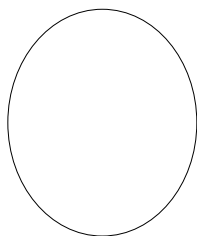
名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎木曜会年末学 術講演会 11月24日(木) 19:30～20:30 MRT-micc	大腸CT(CTコロノグラフィ)の現状と展望 九州大学医学研究院臨床放射線科学分野助教 鶴丸 大介	53 (0.5) 54 (0.5)	◇主催 宮崎木曜会 ◇共催 ※EAファーマ(株) ☎0985-35-2430 エーザイ(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 11月25日(金) 13:30～15:30 都城圏域地場産業 振興センター	メンタルヘルス不調労働者の事例検討による考察 産業保健相談員・都城新生病院医師 前原 正法 生涯研修の实地研修会 : 2単位	5 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第54回日本神経眼 科学会総会 11月25日(金) 9:00～19:30 11月26日(土) 9:00～19:30 宮崎市民プラザ 参加費 : 18,000円	回転として眼球運動を考えよう！Listingの法則とは？ (1日目 12:00～13:00) 手稲溪仁会病院眼窩・神経眼科センター長 鈴木 康夫 外斜視の眼位検査について (1日目 15:15～16:15) 大阪医科大学眼科学教室准教授 菅澤 淳 脳幹・小脳病変で生じる眼球運動異常 (2日目 12:00～13:00) 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター神経内科部長 城倉 健 見ていれば、見えてくるもの ー日本神経眼科学会とともに40年ー (2日目 14:20～15:20) 井上眼科病院名誉院長 日本神経眼科学会理事長 若倉 雅登	36 (1.0) 36 (1.0) 36 (1.0) 36 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部眼科学教室 (連絡先) 第54回日本神経眼科学会総会事務局 (宮崎大学医学部眼科学教室) ☎0985-85-2806

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) が、検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第54回日本神経眼科学会総会 11月25日(金) 9:00～19:30 11月26日(土) 9:00～19:30 宮崎市民プラザ 参加費:18,000円	Papilledema and Increased Intracranial Pressure (2日目 15:20～16:20) Professor of Ophthalmology and Neurology University of Michigan Jonathan D. Trobe, MD ----- 小児の神経眼科 (2日目 16:40～17:40) 愛知淑徳大学視覚科学教授 柏井 聡	36 (1.0) ----- 36 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部眼科学教室 (連絡先) 第54回日本神経眼科学会総会事務局 (宮崎大学医学部眼科学教室) ☎0985-85-2806
第10回はまゆう整形外科セミナー 11月26日(土) 17:30～18:30 宮崎観光ホテル	TKA入門 橘病院長 柏木 輝行	61 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部整形外科教室同門会 ☎0985-85-0986
第73回宮崎整形外科懇話会 12月3日(土) 18:00～19:00 県医師会館 参加費:1,000円	肩の痛みを診る治す 愛知医科大学整形外科特任教授 岩堀 裕介	15 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正富山医薬品(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
宮崎県医師会産業医研修会 12月13日(火) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支援センター	この一年間にみられた産業保健の動向ー厚労省・報道発表資料と通達からー 産業保健相談員 西部労働衛生コンサルタント事務所代表 矢崎 武 生涯研修の更新研修会:2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 12月15日(木) 14:00～16:00 県医師会館	メンタルヘルス不調労働者の事例検討による考察 産業保健相談員・都城新生病院 前原 正法 生涯研修の現地研修会 : 2単位	5 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 12月16日(金) 19:00～21:00 県医師会館	メンタルヘルス不全 ー病気療養期間に行うこと(Ⅰ)ー 産業保健相談員・西都病院 植田 勇人 生涯研修の専門研修会 : 2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 12月21日(水) 19:00～21:00 県医師会館	作業環境関連疾患(腰痛・VDT障害)の予防と悪化防止 産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会 : 2単位	11 (0.5) 12 (0.5) 37 (0.5) 60 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

診療メモ



「B型肝炎ワクチンの定期接種化」

～平成28年10月1日より～

たんぽぽ小児科 ^{やま}山 ^{さき}崎 ^{しゅん}俊 ^{すけ}輔

1. B型肝炎ウイルスの感染のインパクト

B型肝炎ウイルス(以下、HBVと略します)は、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)の50～100倍の感染力があり、急性あるいは慢性感染により世界で年間60万人が死亡しています。現時点で、約20億人(世界人口の3.5人に1人)がHBVに感染し、3億5千万人が持続的に感染しているとされます。これら慢性感染者は乳幼児期のHBV感染が原因です。すなわち、1歳までの感染で90%、1～4歳の感染で30～50%、5歳以降の感染で6%が慢性化するといわれています。HBV慢性感染者の15～25%はHBV関連肝がんあるいは肝硬変で死亡します。そして、その頻度は小児期に感染した方が高いといわれており、わが国の肝がん死亡者数は、年間約3万人(男性約2万人、女性約1万人)でその20～25%(約6,000～8,000人)がHBV関連肝がんによるとされます。

2. わが国における小児のHBV感染率

1985年に開始された母子感染防止対策事業により、1995年までの約10年間で短期的な予防効果は約95%で、残りの約5%がキャリア化することが判明しました。

それ以外は水平感染であり、その中には、母子感染以外の家族内感染(父子感染、同胞、祖父母などの同居者)、保育園などでの施設内感染、成人の性感染があります。具体的な感染経路については、血液はもちろんの

こと、唾液・汗・涙・尿などの体液や排泄液の中にHBV DNAが存在することが証明されており、それらを介して感染します。

2005～2011年までの15府県にわたる血清銀行における保存検体の調査によると、4～9歳の2,000検体中3例(0.15%)、10～15歳の1,000検体中2例(0.2%)でHBs抗原陽性児が見つかり、小児期のHBV感染が予想以上に高率にみられることが明らかになりました。

3. わが国のHBV感染予防の現状

母子感染では、2013年10月から、HBs抗原陽性の母親から出生した児に対して、出生後12時間以内のHBIG(抗HBsヒト免疫グロブリン)とB型肝炎ワクチン(以下、HBワクチンと略します)接種が可能となり母子感染防止について世界標準となりました。

父子感染に関しては、父親がキャリアであると約25%に感染がみられ、約10%がキャリアになるといわれています。母子感染と異なり、男性は父親になってもスクリーニングされないで、現時点では父子感染対策はとられていません。

保育園などでの施設内感染については、乳幼児のB型肝炎は症状が目立たないことが多く、無症状の園児が知らないうちに感染源となって園内に流行するリスクがあります。具体的には、噛みついたり、おもちゃをなめたり、「とびひ」や「アトピー性皮膚炎」の児が極少量の血液に触れたりする、などがあります。

性感染症に関しては、近年、海外型である遺伝子型Aが性感染症として輸入され、短期間に全国に拡散しています。現在、わが国のB型急性肝炎の約50%は遺伝子型AのHBV感染とされています。遺伝子型AのHBVは、成人でもその約10%は持続感染します。さらに、成人から家族内感染によって小児への感染例も報告され、性感染とされていた遺伝子型AのHBV感染はあらゆる年齢に拡散していると考えられます。

HBV再活性化については、いったんB型肝炎に感染すると、たとえ血清中のHBV DNAが消失しても、肝組織中にはHBV DNAが残存していることが明らかになっており、その約10%にHBVの再活性化がみられ重症な肝炎を発症します。このような成人例から家族内の水平感染により、B型劇症肝炎を発症した小児例も報告されています。

4. HBワクチンの定期接種化

HBVは感染力が強く、母子感染防止対策のみでは母子感染以外の水平感染に対する予

防効果は不十分です。乳幼児期の子どもたち全員と思春期の未接種者にHBワクチン接種をすることにより、成人の急性肝炎発症率が低下する、いわゆる「集団免疫」効果が世界的には証明されています。

本年10月1日から定期接種化されるHBワクチンの対象者は、平成28年4月1日以降に生まれた生後12か月未満の乳児です。接種方法は、生後2か月から4週間間隔で2回接種し(2回目はおおよそ生後3か月)、更に1回目から20～24週後(おおよそ生後7～8か月)に1回接種します。長期的に最も効果的な方法は、前述したとおり、すべての乳幼児への接種と思春期のcatch-up vaccinationであり、HBV感染廃絶にはまだまだほど遠いですが、大事な1歩としてHBワクチン接種を勧めていく必要があります。なお、HBV母子感染予防も並行して行われているわけで、それとはワクチンの接種時期が異なりますので、ご注意ください(図を参照してください)。



図 母子感染と母子感染以外の予防方法

宮大医学部学生のページ

宮崎大学学園祭 第12回清花祭～清花爛漫～

日時 平成28年11月19日(土)・20日(日)

会場 宮崎大学 木花キャンパス・清武キャンパス

今年も上記の通り学園祭を行うことが決定いたしました。今年のスローガンは『清花爛漫』です。木花キャンパスと清武キャンパスが協力して、学園祭を華やかに盛り上げていこうという意味が込められています。最高の学園祭にするため学生全員で力を合わせ頑張っていきたいと考えています。今回も、様々なイベント・企画がありますのでその内容の一部をご紹介しますのでぜひご覧ください。

＊解剖・病理企画

この企画は、人体の構造や身近な病気について理解を深め、ご自身の健康について考えていただくことを目的としています。毎年、様々なテーマを掲げそのテーマに沿ったポスターを展示するとともに、実物の病理標本や人体の模型、またお子様にも気軽に楽しんでいただける塗り絵なども用意しています。是非足を運んでいただき、医学や人体の面白さに触れてみて下さい！

＊年齢企画

毎年来場者が1,000人を超え、リピーター続出の、地域の方々からも愛される人気企画です！脳・肌・血管・体力といった体の状態を「年齢」という数字を通して測定することで、ご自身の健康に関心を持っていただけたらと思います。皆様のご来場をお待ちしております。

＊模擬店

各部活が2日間にわたってそれぞれの模擬店を出店し、清花祭を盛り上げます。清武キャンパスでは病院前の中庭を模擬店が囲み、地域の方々や、患者様やそのご家族の皆様もご気軽に訪れることの出来る場となっております！はしまき・わたあめ・焼きそばなど様々なものがありますのでぜひご賞味ください。

宮崎大学清花祭医学部特別講演会

脳と食育

～学力や社会力を上げる“食”～

澤口 俊之氏

子どもや社会人が真に伸ばすべき脳力は何か。その脳力をいかに育成すればよいか。教育の混迷や人材の劣化が叫ばれる中、この問題への科学的解決に取り組むべく世界に先駆けて「脳育成学」を創始し、人間性脳科学研究所を立ち上げ、自ら研究と実践に取り組む。現在、武蔵野学院大学教授も兼務する。最先端の脳育成学をベースにしたホットな講演は体験談等とは一線を画した科学性をもち、講演を聴いた人が感動して講演を依頼するという「講演の連鎖」が起きています。

今回は先生の専門である脳育成学の観点から、昨今話題となっている“食育”について、話していただきます。

日 時 2016年10月23日(日)

開場12:00 開演13:00

会 場 宮崎市清武文化会館 半九ホール

主 催 宮崎大学清花祭清武キャンパス実行委員

共 催 宮崎市清武文化会館

後 援 宮崎市教育委員会, 宮崎日日新聞社

MRT宮崎放送, 宮崎大学医学部後援会

入場料 無料

<応募方法>

本年度はチケットを配布いたしません。観覧をご希望の方は、当日会場までお越し下さい。なお、座席の確保をご希望の方は、「氏名、住所、電話番号、希望の席数ならびに位置」を明記の上、次のいずれかの方法にてご連絡下さい。可能な限りご希望に添える形で座席をご用意いたします。

①はがき：〒 889-1692 宮崎市清武町木原 5200 清花祭実行委員会

②電子メール：責任者 加藤 (igakubukouenkai2016@gmail.com)

【お問い合わせ】

宮崎大学医学部特別講演会

企画責任者 加藤 ☎ 080-5181-9006

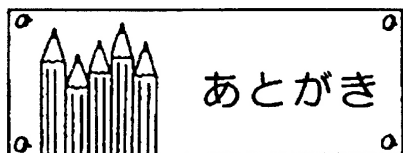
E-mail : naoyuki_katou@med.miyazaki-u.ac.jp

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会学術広報課(TEL 0985-22-5118)までご連絡ください。

送付日	文 書 名
8 月 5 日	・平成28年度健康増進普及月間の実施について ・救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査の実施について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第6項の適切な運用について ・ジカウイルス感染症に係る対応について ・特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法の一部を改正する法律の施行について ・デング熱等の蚊媒介感染症に関する注意喚起について ・みやざきオレンジドクターの登録について ・日本医師会認定産業医制度基礎研修会・産業医科大学産業医学基礎研修会東京集中講座の開催について ・平成28年度(第67回) 全国労働衛生週間に関する協力依頼について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第6項の適切な運用について ・ジカウイルス感染症に関する注意喚起について
8 月 8 日	・医師国家試験問題の公募についてご協力のお願い
8 月 10 日	・上皮成長因子受容体チロシンキナーゼ阻害剤を投与する際の間質性肺疾患に関する留意点について
8 月 16 日	・訪日外国人旅行者受入れ医療機関の追加選定及び昨年度報告内容の更新について ・平成28年度介護事業実態調査(介護事業経営概況調査)に関する協力依頼について ・特別養護老人ホーム等の不動産に係る取扱いについて ・「『在宅医療・介護連携推進事業プラン作成強化セミナー』の参加に関するお願い」の送付について ・「平成28年熊本地震に対処するための要介護認定有効期間及び要支援認定有効期間の特例に関する省令の施行について」の送付について ・平成28年介護サービス施設・事業所調査の協力依頼について ・熱中症に係る注意喚起について ・平成28年度感染症流行予測調査における日本脳炎感染源調査結果について ・季節性インフルエンザワクチンの供給について ・平成28年度医療介護提供体制改革推進交付金(地域医療介護総合確保基金)の内示について ・2016年度の季節性インフルエンザワクチンについて ・「使用上の注意」の改訂について

送付日	文 書 名
8 月 16 日	・第4回独立行政法人国立病院機構菊池病院 大悟病院認知症疾患医療センター合同セミナーの開催について ・ダニ媒介感染症に係る注意喚起について ・ジカウイルス感染症に関する情報提供について
8 月 17 日	・妊婦健康診査の公費負担の状況にかかる調査結果等について
8 月 22 日	・サリドマイド、レナリドミド及びポマリドミド製剤の院内処方薬の取扱いについて
8 月 23 日	・「病原微生物検出情報」の送付について ・公正競争規約についてのご理解とご協力をお願い ・平成28年度「防災週間」及び「津波防災の日」について ・季節性インフルエンザワクチンの供給について ・ダニ媒介感染症に係る注意喚起について ・ジカウイルス感染症に関する情報提供について
8 月 26 日	・日本准看護師連絡協議会「施設内複数名義一括申込みフォーム」による受付開始について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて
8 月 30 日	・県民一斉防災行動訓練「みやざきシェイクアウト」への協力について ・平成28年度認知症介護基礎研修の実施について ・「職場の健康診断実施強化月間」の実施に関する協力依頼について ・平成28年度健康増進普及月間の実施について ・8月以降における熱中症予防対策の徹底について ・産業連関構造調査(医療業・社会福祉事業等投入調査)の協力依頼について ・麻疹の広域的発生について
8 月 31 日	・病院の勤務環境に関するアンケート調査について ・全日本病院協会「看護師特定行為研修指導者講習会」(第5, 11回)について
9 月 1 日	・日本医学会シンポジウムの開催について ・「医師国家試験等の受験資格認定の取扱い等について」の一部改正について ・保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部を改正する省令の公布について(看護師2年課程通信制の件)
9 月 2 日	・「救急の日」ポスターにおける印刷の不具合について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて
9 月 3 日	・医療機器の保険適用について ・「医療機器の保険適用について」の一部訂正について ・検査料の点数の取扱いについて
9 月 5 日	・医療安全に関するワークショップの開催について
9 月 6 日	・B型肝炎ワクチン定期接種化に係るリーフレットの厚生労働省HPへの掲載について ・ジカウイルス感染症診療Q&Aについて ・ジカウイルス感染症に関する注意喚起について ・平成28年度「自殺予防週間」における啓発活動等の推進について ・「患者の意向を尊重した意思決定のための研修会」の実施について



あとかき

フォード大に3人の息子を合格させた50の教育法」やSONY創業者の井深大氏の「幼稚園では遅すぎる」や七田真氏の「七田式子育て理論」等です。それぞれ「東大はもはや滑り止め!」とか「人生は3歳までにつくられる!」等の衝撃的なサブタイトルが付けられています。今さら3歳過ぎたら遅すぎると言われても困るよ!!と思いながら読んでみましたが、内容的にはいかに子供の可能性を広げ、正しい道へ導いてやるためにどのように介入していくべきかとか、脳が柔らかいうちに思考や言語や記憶の回路を開いて活性化させてやることの有効性を説くものでした。中には超能力や宇宙系の話で?が付くような箇所もありましたが、感心させられる箇所も多く、幼児教育イコール試験の成績だけの頭でっかち人間製造という自分が持っていた偏見が覆るような内容でした。今更かもしれませんが、まずは子どもに与えるおもちゃや食べ物を見直したり、時間を見つけていろいろなものに触れさせて、より多くのいい刺激を与えていこうと決心したところです。皆さん、何かアドバイスをあればよろしくお願い致します。(稲倉)

* * * * *

傾斜地の下に庭があるのですが、台風16号により、おそらく2t相当の土砂が芝生と庭の小道に降り掛かりました。丹精を込めて育てた芝生を救うべく、小学生4人を動員し、丸一日かけて土砂をどけました。数年前はお手伝いの真似事だけで却って邪魔だったのが、意外なほど役に立ち、子ども達の成長を実感した一日でした。綺麗になった庭で記念撮影。水をたっぷり含んだ土はとてつもなく重く、予防的湿布貼付を入念に行いました。

(岡本)

* * *

今年のリオ五輪は今までで一番感動したオリンピックだった。リアルタイムで大逆転を見るのはやはり興奮するし、苦しんでメダルを取った選手の流す涙にはもらい泣きしてしまう。相手を思いやるスポーツマンシップや負けても勝者を称える精神には脱帽する。最高の舞台で最高のパフォーマンスができるためには、練習と精神力と運とあと何が必要なのだろうか?自分の仕事においても常にベストが尽くせるよう精進したいと思った。

(山崎)

* * *

“芸術の秋”にはまだほど遠い8月13日の午後、暑い日差しの中、宮崎県立美術館に慌てて足を運びました。そして、第17回宮崎県医師会医家芸術展を見てきましたが、暑さも一気に吹き飛ばぐらい見事な作品ばかりで、1つ1つの作品をじっくりと、感慨深く見ることができました。日州医事の表紙の候補になるそうです。どの作品が選ばれるか…楽しみです。その足で、ウッドワン美術館名品展、“輝く美の巨匠たち”の展示作品を見に行きました。宮崎市内のこんなに身近な美術館で、70名の有名な作家の80点の作品をみることができるなんて!と感動しながら、蒸し暑い夏の午後の時間が、あっという間に過ぎてし

1人娘が3歳になりました。結婚10年目45歳で授かった子で可愛い、可愛いと自由奔放に育ててきたせいか、かなり腕白な子に育っております。最近、優秀な御子息をお持ちのK先生やO先生に幼児教育の大切さを聞かされたこともあり、その関係の本を読むようになりました。アグネス・チャン氏(チャンは敬称ではなく名前だったんですね)の「スタン

まったのを覚えています。充実した午後でした。
(上山)

* * *

9月の3連休を利用して、学友と種子島に行ってきました。ちょうど台風が近づいて来ていたので心配していたのですが、来るのは火曜日になってからだろうと踏んで出発しました。台風の前とは思えないほどの良い天気に恵まれ、とてもきれいな海と美味しいご飯を堪能していざ帰る予定の月曜日、フェリーが欠航との連絡が入り、飛行機も残席が無く、結局もう1日旅行をのぼすことになってしまいました。予想外のハプニングでしたが、台風のおかげで忘れられない旅行となりました。

(佐井)

* * *

9月の3連休に、宮崎を訪れた両親と霧島温泉の清流荘という旅館を訪れた。日程的に台風直前だったため、あいにくの空模様であつたが市街地とは比べ物にならないほどの静寂な雰囲気の中での余暇となった。スマホの電波も届かない中で、はじめは戸惑ってどう時間を潰そうかとも思ったものだが、次第にそんなことも考えずにゆっくりと温泉に浸かったりしながら流れる時間に身を任せていた。

普段、自分がいかにパソコンやスマホを使用することに時間を費やしているのかを実感していた。

(柴野)

* * *

温暖化が心配になり、5年前に医院の屋上に10kWの太陽光発電パネルを設置しました。売電はせずにすべて自家使用にまわしています。これまでの発電実績からすると元をとるのに40年ほどかかりそうです。エコはエコノミーではないことを実感しています。

(佐々木)

* * *

今月のトピックス

随筆 4度目のしまなみ

「2度目の…」というシリーズをよく目にします。機内誌のシリーズ「2度目の」やNHKの「2度目の旅」は好きで良く見えています。今月号の随筆は川野啓一郎先生の「4度目の夏のしまなみ」です。趣味の自転車で富士山のヒルクライムレースに参加した上司から、レースの話を聞いても行ってみたいとは思いませんでしたが、川野先生の4度も行かれたしまなみ海道には心惹かれました。

6 ページ

診療メモ B型ワクチンの定期接種化～平成28年10月1日より～

1985年にB型肝炎母子感染防止事業が実施されて以降、B型肝炎ウイルス(HBV)の垂直感染は激減しましたが、水平感染の問題は残っていました。国際化の進展にとともに、海外型である遺伝子型AのHBV感染が性感染症として輸入され日本で拡散しているそうです(従来日本では、遺伝子型BとCが多くみられた)。家族内感染や施設内感染も含め、HBVの水平感染対策として任意であったHBVワクチンが今月10月1日から定期接種化されました。山崎俊輔先生に解説していただきました。

76 ページ

宮大医学部学生のページ 宮崎大学学園祭第12回清花祭～清花爛漫～

早いもので、今年も学園祭の季節になりました。毎年、趣向を凝らした企画やイベントで近隣の方々にも好評のようです。10月23日(日)にはテレビでお馴染みの脳科学者、澤口俊之氏による特別講演会「脳と食育～学力や社会力を上げる“食”～」があります。おもしろい話が聞けそうです。

78 ページ

日 州 医 事 第806号(平成28年10月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail:office@miyazakimed.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 沖田 和久・副委員長 西田 隆昭, 岡本健太郎
委 員 中村 豪, 野村 勝政, 押川 隆, 馬場 萌子
山崎 俊輔, 稲倉 琢也, 上山 貴子, 佐井 佳世, 柴野 雅資
担当副会長 富田 雄二・担当理事 荒木 早苗, 佐々木 究
事 務 局 学術広報課 立山 幸恵, 牧野 諭

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。
定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)